

RANGERS PROJECT.

認定NPO法人自然環境復元協会

レンジャーズプロジェクト 2011年度 成果報告書

目次

レンジャーズの目指すもの	1
仕組み.....	2
経緯	4
登録者分析.....	5
活動実施一覧	6
作業の様子.....	9
受入団体のご紹介	10
サンシティグリーンボランティアの会	
柏の宮公園 自然の会	
隅田公園さくらパートナーシップ	
夢の島公園・夢の島熱帯植物館	
鎌倉中央公園 山崎・谷戸の会	
企業C S Rとの協働事例.....	15
N E Cソフト株式会社 C S R推進部	
参加者レポート.....	16
川角健太 法政大学人間環境学部二年	
佐々木堯之 レンジャーズプロジェクトリーダー	
参加者からの感想	
効果の検証.....	20
立川周二 認定N P O法人自然環境復元協会 理事	
有賀一郎 認定N P O法人自然環境復元協会 理事	
今野祐二 専門学校東京テクニカルカレッジ 環境テクノロジー科科长	
外部有識者による効果の検証.....	23
伊藤博隆 横浜みどりアップ計画推進市民会議委員	
環境活動団体への調査レポート	24
企業C S R調査レポート.....	42
制作物.....	44
若手人材の募集チラシ	
レンジャーズ新規登録者向けガイド	

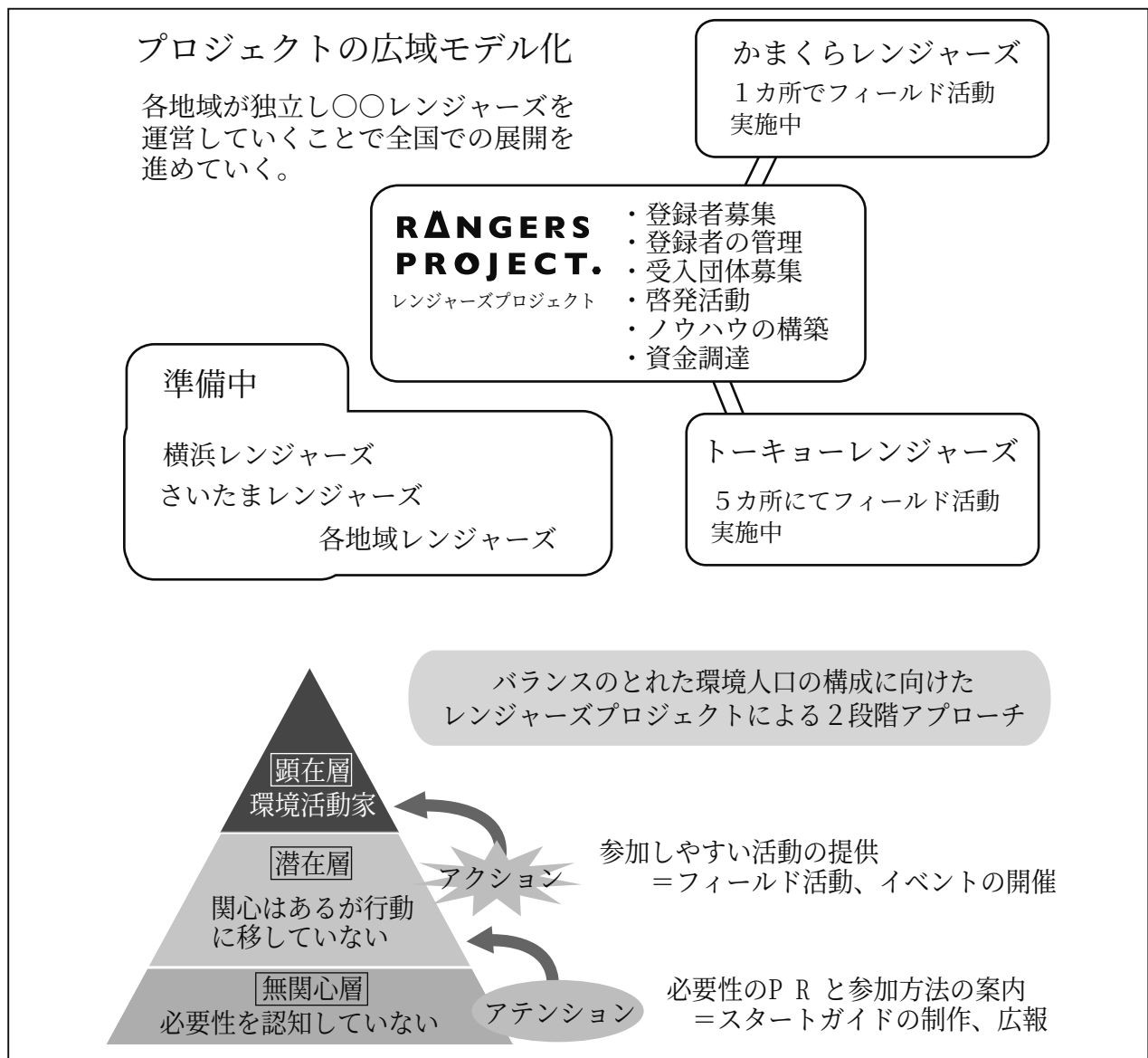
レンジャーズプロジェクトの目指すもの

身近な自然環境を守るため

世代を越えて支えあう持続可能な社会を目指して

特定非営利活動促進法が施行され、多くの団体がNPO法人化し、今や環境NPOの登録団体数は10,000を超えています。しかし、活動家の高齢化や、さらに資金不足により継続困難な団体が多く、また、ボランティアの参加者は年々増えているものの、環境NPOへの参加は十分とは言えません。

そのような状況の中、地域に密着した環境活動団体への人材不足を解消することを目的にスタートさせた若手ボランティア人材派遣活動「トーキョー・レンジャーズ」は、潜在的ニーズであった「関心はあるが活動できない人材」を行動へ結びつける活動として評価をいただくまでになりました。そして、活動支援に至るまでの手法をノウハウとして構築し、広域での活動につなげることを目的とした「レンジャーズプロジェクト」というプロジェクトとして動きはじめました。将来的には、地域の環境活動団体が新たな担い手を育成・確保し、緩やかな世代交代を行うことを目指します。

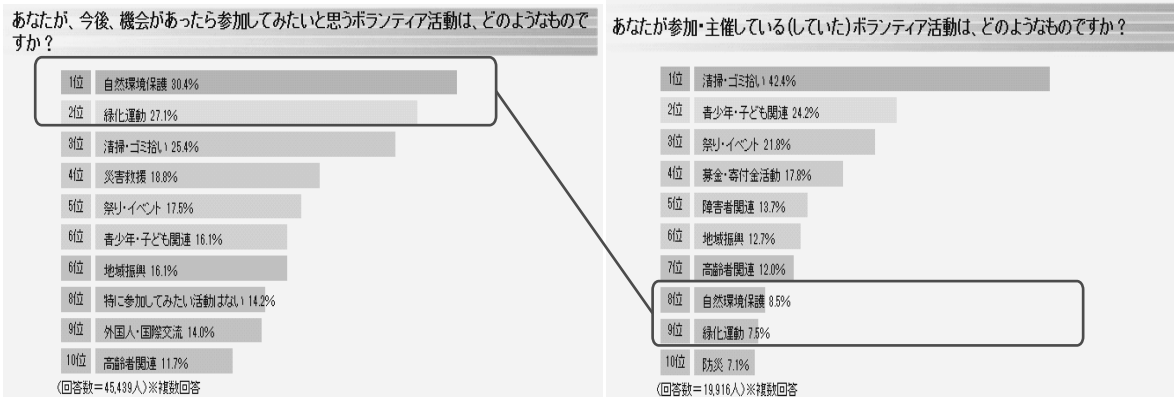


【レンジャーズプロジェクト 発足の経緯】

1. 活動団体の抱える問題点

東京都板橋区にて、地域住民によるボランティア団体が週一回緑化活動を行っていたが、メンバーの高齢化が進む中、新規メンバーが集まらず活動の継続が困難となっていました。

2. 活動希望者の実態



インターネット調べ「ボランティア」に関する調査 2007年12月21日(木)～12月24日(月)の間に45,439人の回答を集計したもの。

既往研究によると、ボランティア活動希望者のうち、自然環境保護活動・緑化運動に興味のある者は多い傾向にあります。しかし、実際の活動として、自然環境保護活動・緑化運動への参加は少ない状況です。

3. 問題意識

環境保全活動団体の高齢化が進み、新規メンバーが集まらない一方で、ボランティアとして環境保全活動に参加したいという高いニーズがあります。しかし、実際に参加するボランティアが少ない原因は、環境活動団体と参加希望者のミスマッチであると考えました。

4. 現状調査 ～ 戦略策定

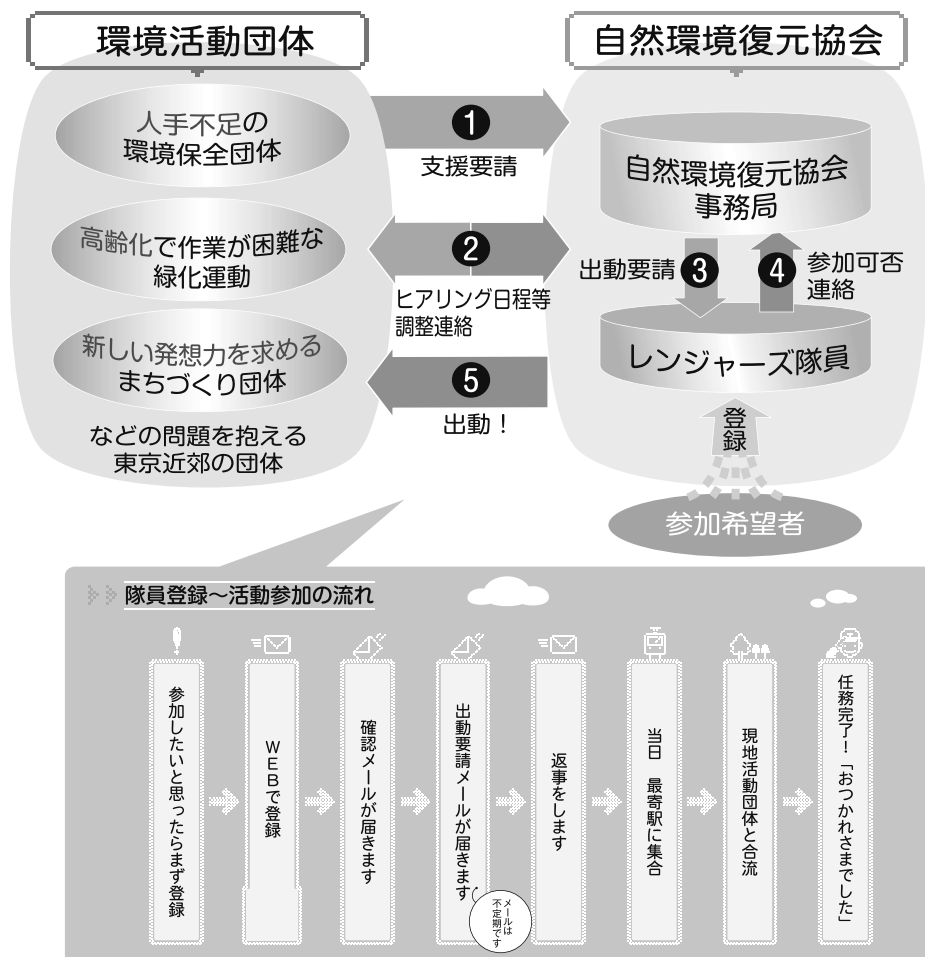
	環境活動団体	参加希望者・参加者
PHASE.1 ニーズ調査 活動団体へのヒアリングと参加希望者やボランティア経験者にどのような活動を希望するか調査を行った。	・募集のノウハウが無い ・受入体制が無い ・専門的作業の継承が困難 ・地域性が強く、外部の人を受け入れにくい	・参加方法がわからない ・初心者でも参加できるか不安 ・体力的に自信がない ・参加したが疎外感があった
PHASE.2 ターゲット設定 ターゲットを設定し、より効率的な活動を目指す。	メールでの連絡が可能であり、今後地域での活動の核となる人物を設定。 → 学生～30代をターゲットとする。	
PHASE.3 コンセプト設定 ニーズを満たすコンセプトを設定することにより、ミスマッチを解消する。	企画モノとしてのレンジャーズプロジェクト登録者を隊員と呼び、「活動指令」メールを送る。 →若者の遊び心を取り入れ、楽しいイメージに。 体力的な不安を解消し、参加しやすい活動として、 →翌日に疲れを残さない短時間(3時間程度)とする。 ターゲット世代の社会的立場などを考慮し、 →参加したい時に、参加したい場所で参加する。 参加者の孤立、疎外感を排除するため、 →現地集合とせず、最寄駅で集合しレンジャーズ隊員として現地へ入る。	

5. レンジャーズ・プロジェクト発足

人的支援を求める活動家と、活動をしたいという若い人たちを繋げるべく、モデル的に都内で「トーキョー・レンジャーズ」を発足しました。

『ボランティアとして社会貢献している』のではなく、『緑あふれる都市を目指して、みんなでがんばっていこう!』という想いを共有するための企画としたことで、登録者数は1年間で180名を越え、活動には平均10名の参加があります。その中には、環境活動未経験者も多く含まれています。2011年4月にレンジャーズプロジェクトとして広域での活動を開始しました。

【活動フロー】



【効果】

レンジャーズ・プロジェクトは、都市における様々な問題を解決し社会に貢献します。

マンパワー不足による
環境活動の衰退、不活性

チームを結成しフィールドへ訪問します。人的応援をすることで活性化を目指します。

高齢化による技術の衰退

市民活動家にもセミプロと呼ばれる方々が多くいます。
実践的に学ぶことにより、技術の伝承を行います。

学生の異年代との
コミュニケーション能力不足

様々な団体へ応援に行くことにより、異なる世代の方同士のふれあいの場が持てます。年配者が多い団体もあり、礼儀や常識も教わることもあり、中には、「履物は揃えろ!」と怒られるシーンも・・・。
異なる年代との接触があまりない学生のコミュニケーション能力を向上させ、社会へ出た際のショックを和らげる効果が期待できます。

プロとの共存を目指します

レンジャーズはボランティア活動として、多くの人に自然に興味を持ってもらうよう活動をPRしていきます。それにより、自然に対する要求が高まり、造園業・研究者・活動家などプロへ注目が集まるよう好循環を目指します。

経緯

2010 年 5 月 トーキョーレンジャーズとして、隊員の応募を開始。

5 月 30 日 隊員 3 名＋スタッフ 2 名で板橋区サンシティで活動を行う。

以後、月 1 回ペースで活動を開始。

6 月 夢の島公園がフィールドに加わる。

9 月 神奈川 野島 塩生湿地の作業に参加。

10 月 西伊豆 松崎町棚田の保全活動へ参加 初遠征となる 8 人参加

11 月 NEC ソフトとの協働にて 海の森植樹活動（江東区）

杉並区 柏の宮公園がフィールドに加わる。

12 月末までで 87 名の隊員登録あり。

2011 年 1 月 隊員登録者数が急増したため、作業が追い付かず、登録受付を中断する。

2 月 受付を WEB 上で行えるようなシステムとして、登録再開した。

柏の宮公園での活動が、東京の緑を守るプロジェクト助成に採択される。

3 月 登録者数 100 名を突破

東京都下水道局森ヶ崎水再生センターにてリトルターンプロジェクトの活動に参加予定だったが、震災の影響で中止となる。

※震災の影響により、しばらく活動を休止。

4 月 トーキョーレンジャーズの広域モデル化のため地球環境基金の助成を受け、「レンジャーズプロジェクト」となる。

5 月 活動再開。この頃より週 1 回ペースで活動を行うようになる。

7 月 新木場駅前ハーブガーデンがフィールドに加わる。

8 月 東京都の緑を守る将来会議で事例報告を行う。

9 月 隅田公園がフィールドに加わる。

10 月 受入団体の一般公募を行う。

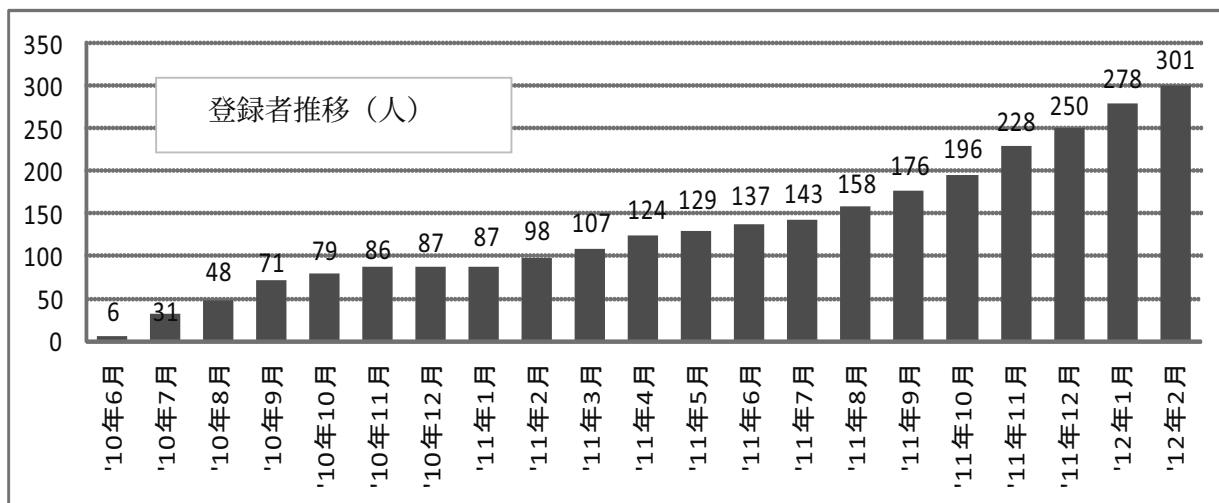
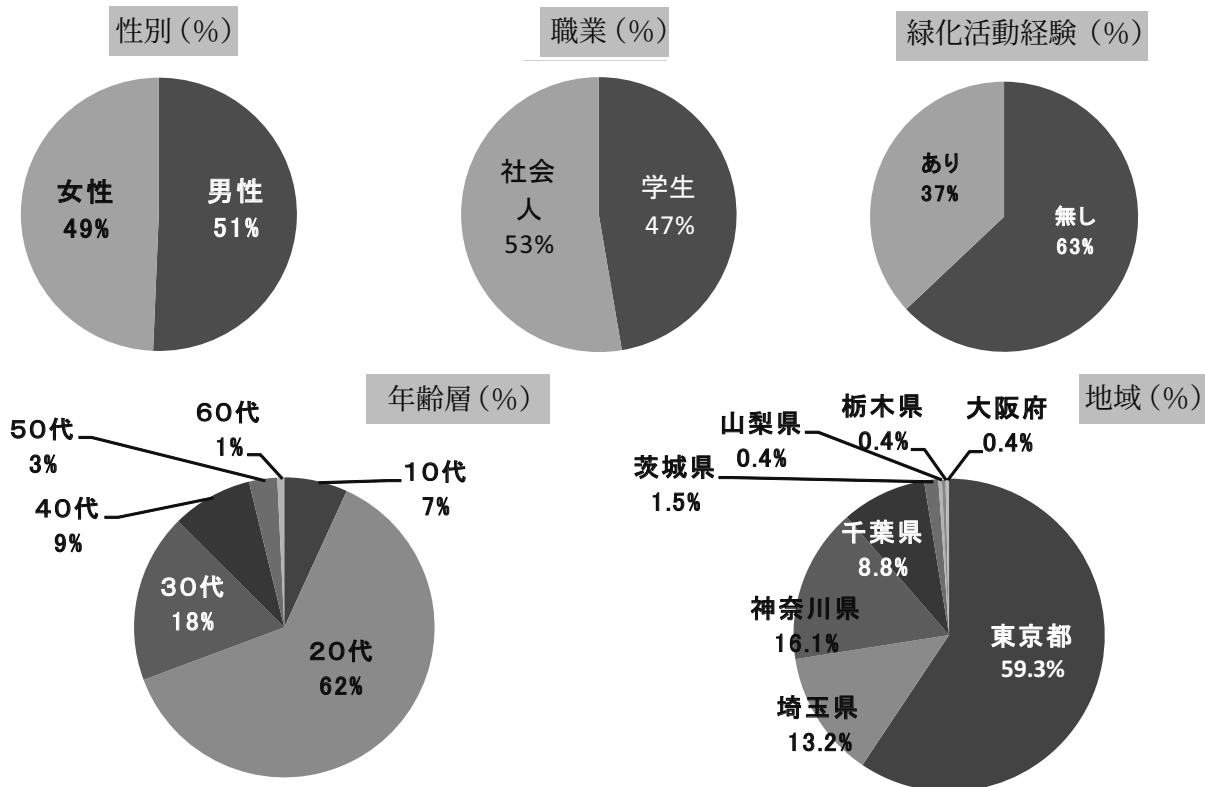
鎌倉中央公園がフィールドに加わる。

12 月 1 年間の登録者数 165 名 トータル 252 名の隊員

2012 年 3 月 葛西臨海公園がフィールドに加わる。

レンジャーズ登録者（隊員）分析（登録者ベース）

対象 期間…2010年6月～2012年2月・登録者人数…301人・分析項目…隊員登録項目より選出



【まとめと考察】

職業については社会人と学生が概ね半数ずつとなり、性別についても男性・女性が半数ずつであった。年齢層では、20代が約6割、30代が約2割、10代が約1割となり、10～30代で全体の約9割を占めている。地域については東京が約6割を占め、緑化活動の経験の有無については、約6割がレンジャーズ活動が初めてである。

これらの結果を考察すると、当プロジェクトが「環境活動人口の増加に貢献している」と言える。

レンジャーズプロジェクト活動実績一覧

年No.	日時	参加人数	地域	場所	受入団体(派遣先)	活動内容
	2010年					
1	5/30(日)	5	板橋区	サンシティ	サンシティ・グリーン・ボランティアの会	団地内緑地の保全・樹木剪定、昼食会にて意見交換
2	6/20(日)	4	江東区	夢の島公園	夢の島熱帯植物館	勉強会
3	7/31(土)	13	板橋区	サンシティ	サンシティ・グリーン・ボランティアの会	バードサンクチュアリの整備、昼食会にて意見交換
4	8/29(日)	20	江東区	夢の島公園	夢の島熱帯植物館	農業研修・畑の草とり
5	9/12(日)	5	横浜市	野島塩生湿地	NPO法人よこはま水辺環境研究会	アイアシ保全活動
6	9/23(木)	11	江東区	夢の島公園	夢の島熱帯植物館	勉強会
7	10/2(土)	7	静岡県	松崎町石部の棚田	百笑の里地域協議会	稲刈り
8	11/4(木)	8	江東区	海の森	東京都	植樹活動
9	11/14(日)	13	江東区	夢の島公園	夢の島熱帯植物館	花壇造り
10	11/18(木)	7	江東区	夢の島公園	夢の島熱帯植物館	幼稚園児によるチューリップ球根植え付け作業の補助
11	11/18(木)	6	杉並区	柏の宮公園	柏の宮公園自然の会	草刈り
12	11/21(日)	10	板橋区	サンシティ	サンシティ・グリーン・ボランティアの会	団地内緑地の保全・樹木剪定、昼食会にて意見交換
13	11/25(木)	8	板橋区	サンシティ	サンシティ・グリーン・ボランティアの会	団地内緑地の保全・樹木剪定、昼食会にて意見交換
14	11/27(土)	12	杉並区	柏の宮公園	柏の宮公園自然の会	草刈りと生態調査
15	12/5(日)	7	江東区	夢の島公園	夢の島熱帯植物館	山芋掘り
16	12/19(日)	10	板橋区	サンシティ	サンシティ・グリーン・ボランティアの会	団地内緑地の保全・樹木剪定、昼食会にて意見交換
	2011年					
17	2/13(日)	15	板橋区	サンシティ	サンシティ・グリーン・ボランティアの会	植樹作業、昼食会にて意見交換
18	2/27(日)	10	板橋区	サンシティ	サンシティ・グリーン・ボランティアの会	椎茸菌打ち、昼食会にて意見交換
19	3/5(土)	6	横浜市	野島塩生湿地	NPO法人よこはま水辺環境研究会	アイアシ保全作業
	3/12(土)	震災のため中止	板橋区	サンシティ	サンシティ・グリーン・ボランティアの会	
	3/26(土)	震災のため中止	大田区	森ヶ崎水再処理センター	NPO法人リトルターン・プロジェクト	コアジサシ営巣地保全
	4/9(土)	震災のため中止	板橋区	サンシティ	サンシティ・グリーン・ボランティアの会	
20	4/17(日)	5	板橋区	サンシティ	サンシティ・グリーン・ボランティアの会	椿剪定作業と竹林管理、昼食会にて意見交換
21	5/5(木)	14	杉並区	柏の宮公園	柏の宮公園自然の会	選別草刈りと自然観察会

年No.	日時	参加人数	地域	場所	受入団体(派遣先)	活動内容
22	5/8(日)	7	江東区	夢の島公園	夢の島熱帯植物館	小麦畑の除草作業
23	5/21(土)	8	板橋区	サンシティ	サンシティ・グリーン・ボランティアの会	バードサンクチュアリの整備、昼食会にて意見交換
24	6/5(日)	7	江東区	夢の島公園	夢の島熱帯植物館	小麦畑の除草作業
25	6/19(日)	4	板橋区	サンシティ	サンシティ・グリーン・ボランティアの会	下草刈り、昼食会にて意見交換
26	6/26(日)	10	杉並区	柏の宮公園	柏の宮公園自然の会	生物に配慮した選別除草と自然観察会
27	7/3(日)	21	江東区	新木場駅前	NECソフト株式会社	ラベンダー収穫作業 補助
28	7/12(火)	10	江東区	夢の島公園	夢の島熱帯植物館	公園管理作業 深川第二中学校(65名)と協働作業
29	7/23(土)	5	板橋区	サンシティ	サンシティ・グリーン・ボランティアの会	マンションの「子供まつり」出展補助、住民の緑化保全意識調査
30	7/31(日)	6	杉並区	柏の宮公園	柏の宮公園自然の会	公園内の樹木管理、下枝はらい
31	8/28(日)	5	杉並区	柏の宮公園	柏の宮公園自然の会	水辺の整備、外来生物駆除
32	9/10(土)	12	墨田区	隅田公園	隅田公園さくらパートナーシップ	花壇の除草作業、苗植え
33	9/18(日)	11	板橋区	サンシティ	サンシティ・グリーン・ボランティアの会	緑地の整備作業
34	9/24(土)	10	杉並区	柏の宮公園	柏の宮公園自然の会	生物に配慮した鎌を利用した除草と台風で折れた樹木の枝の片づけ
35	10/15(土)	6	江東区	木場公園	NECソフト株式会社	「江東区民祭」出展補助(ハーブクラフトの販売、手作り石鹸のワークショップの作業補助)
36	10/16(日)	7	江東区	木場公園	NECソフト株式会社	
37	10/29(土)	12	杉並区	柏の宮公園	柏の宮公園自然の会	下草刈り、田んぼの手入れ作業
38	11/10(木)	15	板橋区	サンシティ	サンシティ・グリーン・ボランティアの会	緑地整備
39	11/12(土)	8	江東区	海の森	東京都	植樹作業
40	11/13(日)	5	渋谷区	国連大学	地球環境パートナーシッププラザ	「環境ボランティア見本市」出展
41	11/15(火)	5	江東区	夢の島公園	夢の島熱帯植物館	幼稚園児によるチューリップ球根植え付け作業の補助
42	11/17(木)	15	江東区	夢の島公園	夢の島熱帯植物館	そば収穫作業
43	11/20(日)	8	杉並区	柏の宮公園	柏の宮公園自然の会	選別草刈り
44	11/23(水)	6	横浜市	鎌倉中央公園	山崎・谷戸の会	水路整備、草取り、草刈り
45	11/24(木)	15	杉並区	柏の宮公園	柏の宮公園自然の会	下草刈り、下枝の剪定
46	11/26(土)	9	板橋区	サンシティ	サンシティ・グリーン・ボランティアの会	緑地の保全・樹木剪定
47	12/1(木)	15	杉並区	柏の宮公園	柏の宮公園自然の会	下枝の剪定、堆肥作り
48	12/4(日)	7	江東区	夢の島公園	夢の島熱帯植物館	東京産そばと自然薯の振る舞いイベント運営補助

年No.	日時	参加人数	地域	場所	受入団体(派遣先)	活動内容
49	12/8(木)	15	板橋区	サンシティ	サンシティ・グリーン・ボランティアの会	緑地整備
50	12/10(土)	6	墨田区	隅田公園	隅田公園さくらパートナーシップ	桜堤の整備、花壇の整備
51	12/11(日)	5	横浜市	鎌倉中央公園	山崎・谷戸の会	田畑の整備
52	12/18(日)	9	板橋区	サンシティ	サンシティ・グリーン・ボランティアの会	町山の保全
53	12/24(土)	7	杉並区	柏の宮公園	柏の宮公園自然の会	雑木林の整備、堆肥作り
	2012年					
54	1/19(木)	15	板橋区	サンシティ	サンシティ・グリーン・ボランティアの会	緑地の保全・樹木剪定
55	1/22(日)	6	横浜市	鎌倉中央公園	山崎・谷戸の会	田畑の整備、土作り作業、耕し、堆肥作り
56	1/26(木)	10	江東区	夢の島公園	夢の島熱帯植物館	側溝の整備、緑地の保全
57	2/2(木)	15	杉並区	柏の宮公園	柏の宮公園自然の会	選別草刈り
58	2/9(木)	15	板橋区	サンシティ	サンシティ・グリーン・ボランティアの会	植樹活動、町山の保全、昼食会
59	2/11(土)	15	板橋区	サンシティ	サンシティ・グリーン・ボランティアの会	植樹活動、町山の保全、昼食会にて意見交換
60	2/19(日)	13	横浜市	鎌倉中央公園	山崎・谷戸の会	田畑の整備、土作り作業、耕し、堆肥作り、昼食会
61	2/23(木)	15	江東区	夢の島公園	夢の島熱帯植物館	花壇造り
62	3/4(日)	15	杉並区	柏の宮公園	柏の宮公園自然の会	枯れ草刈り・樹木剪定
	3/17(土)	予定	江戸川区	葛西臨海公園	NPO法人生態工房	葎刈り取り作業
	3/25(日)	予定	大田区	森ヶ崎水再処理センター	NPO法人リトルターン・プロジェクト	コアジサシ営巣地保全
	3/31(土)	予定	墨田区	隅田公園	隅田公園さくらパートナーシップ	桜の花芽調査
合計	62回	参加者数	606人	平均参加者数	9.77人	

2011年10月29日 杉並 柏の宮公園

昆虫（特に直翅目）の繁殖のために刈り込みを延期していた高草地の一部を昆虫の繁殖時期ほぼ終了を見計らって植生更新の為に刈り取り作業を行った。
また、稲刈り後の田んぼの土づくりのため収穫した稲藁を切り、田んぼに散布する作業。



鎌を使った草刈り



細工用の藁を選り分け裁断



田んぼに撒く

2011年12月18日 板橋 サンシティ内緑地

樹木の剪定作業に伴い発生した枝や丸太を片づける作業に参加。
勾配のある場所での運搬と、チップ化のための作業補助を行った。



広い園内での運搬作業



大きな剪定枝も発生する



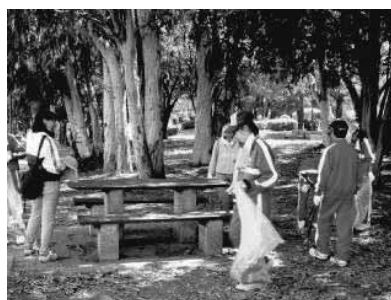
丸太の一部は椎茸栽培に使われる

2011年7月12日 江東区 夢の島公園

東京テクニカルカレッジによるレンジャーズ特別企画。中学生の職場体験プログラムに参加し、リーダーとして中学生をサポートする。普段、受け入れてもらう立場から、受け入れる側になっての作業は、責任感や積極性を養い、コミュニケーション能力の向上を目指す。レンジャーズプロジェクトの活動は、単なる環境活動にとどまらず作業を通じて社会性・人間性を養う。



園内のヒマワリ畑除草作業



園内の整備班
怪我の無いよう注意を払いながら



炎天下の中での除草作業
時には注意する場面も

サンシティ グリーンボランティアの会

活動場所は、敷地面積 12.4ha、約 6000 人が暮らすマンション群にある 4.5ha の緑地です。この緑地の維持のため、1997 年に住民によるボランティアグループとして当会が設立されました。今では約 124 種・5 万本の樹木が茂る立派な森となっています。活動は週 1 回、毎回 20 ～ 30 人、年間約 1300 人が参加しています。落ち葉の堆肥化、枝材のチップ化など、ゴミとせず上手く利用して自然と共存する活動が国内外から注目されています。

団体データ

<活動場所>

板橋区サンシティ（大規模マンション）
東京都板橋区中台

<団体概要>

サンシティグリーンボランティアの会
（任意団体）

世話人 金本一夫

レンジャーズ受入についての感想

レンジャーズの方々に応援いただいて 1 年になり、半日の活動ですが、色んな職種の方々の考えが聞け、また若い人に接触できるので、われわれ老人に活力を与えてくれています。

サンシティグリーンボランティアのモットーは、15 年間活動してきた経験や、緑の大切さを多くの人に伝えることです。

また、緑の恩恵を一番享受しているのは、人口の一番多い都会の人達で、この多くの人たちにこそ緑の大切さ知って欲しいということで、近隣の小学校の総合学習や、中学校での緑の普及活動を行っています。

都会に住む人が、一人でも多く緑に関心をもって頂ければ、われわれの苦勞も報われると思いますし、いろんな方々のお話をもっと聞きたいので、気軽にお出で頂ければと思っています。



（左上）サンシティグリーンボランティアの会の皆さん
（左下）粉碎機の導入により循環型の保全が進められている
（右）住民参加の植樹イベントに参加

■現地でのレンジャーズ活動の特徴

こちらの団体より「高齢化により活動の衰退が心配だ…」とご相談がありボランティアに伺ったことからレンジャーズは始まりました。若い世代が多いレンジャーズにとって、大先輩方との交流は心温まるものであり、また時には叱られることもあります。こちらの現場では緑化活動にとどまらない、社会人としての経験を積ませていただいています。毎月 1 回程度、定期的に訪問しています。

かしのみや

柏の宮公園 自然の会

杉並区立柏の宮公園はその計画段階から区民が参画した公園ですが、その予定地に残されていた自然に触れ、それらを極力保全してさらに豊かに育んでいこうと集った仲間が2002年に当会を設立。行政や他団体と話し合いを重ねながら、公園全域にわたる植生、水辺、田んぼなどの保全管理作業を行い、自然観察会なども企画運営しています。

(詳細は“柏の宮公園自然の会”でWEB検索！)

団体データ

＜活動場所＞

杉並区立柏の宮公園

杉並区浜田山

＜団体概要＞

柏の宮公園自然の会（任意団体）

代表 梶山信夫

担当 田中豊子

レンジャーズ受入についての感想

2010年11月より、東京レンジャーズからボランティア派遣をいただいております。当会の自然環境保全活動を多くの皆様に知っていただき、それぞれの方がより身近な自然に目を向けるきっかけになればうれしいと受け入れを始めました。月に1～2回ですが、毎回たくさんの方が手伝いに来てくださり、特に人手が必要な作業の際には大変助かっています。若者の参加も多いので、この活動を通じて、都市の中にもかろうじて生き残っている様々な生きもの達の存在やその営み、そしてそれを育んでいる自然環境の素晴らしさや美しさを知っていただきたいと思っています。また、それらに触れあいながら管理作業する楽しさを感じていただき、かけがえのない自然を末永く守っていきたくと行動する次世代が、たくさん育ってくれることを期待しています。



(左) 公園内の整備作業



(右上) 秋に向けての草刈り作業



(右下) もとプールだった場所に造成された池

■現地でのレンジャーズ活動の特徴

アクセスの良さもあり、毎回多くの人に参加していただいている現場です。参加する誰もが、このような公園が近くにあればいいという感想を持つと同時に、こんなに管理が大変だとは思わなかったというため息を漏らします。自然保全活動の苦労だけではなく、楽しさも同時に味わうことのできる魅力的な現場です。毎月1回程度、定期的に訪問しています。

隅田公園さくらパートナーシップ

私たちは、江戸時代から続く墨堤の桜を次世代に継承するため、「隅田公園を通じて地域コミュニティをさらに活性化していく」ことをコンセプトの1つとして掲げ、より多くの人の憩いの場として楽しめる隅田公園となるよう、平成18年より区とのパートナーシップにより活動しています。主に①桜の保全活動(調査・根元への植花など)②間伐材の利用活動③広報PR活動を実施しています。

団体データ

<活動場所>

墨田区立隅田公園

墨田区向島

<団体概要>

隅田公園さくらパートナーシップ

代表 増村多喜雄

担当 石野秀紀

レンジャーズ受入についての感想

「トーキョー・レンジャーズ」には、平成23年の「東京の緑を守る将来会議」に参加をした際に知り合い、私たちの活動のお手伝いに来て頂けるということでお願いをしました。来ていただいた方は、大学生を中心とした若い方々で、非常にまじめで、且つ体力もあり、本当に助かりました。私たちとしてもこういった形でお手伝いいただくことは、初めての経験でもあったため、作業に慣れている会員に指示を出すのとは違い、初めて作業いただく方への指導方法を考える必要があるなど、貴重な勉強の機会にもなっております。また、私たちも人手不足や高齢化などの課題もあるため、これからもレンジャーズの方々の力も借りられればと思っております。若い方が早い段階でボランティアに参加することは、地元コミュニティが薄れる中で非常に良い活動だと思います。これからもよろしくお願いします。



(左) 休憩時のおしゃべりもボランティアの楽しみ



(右) 道路沿いの花壇造成作業の様子

■現地でのレンジャーズ活動の特徴

名前の通り、花壇造成など花にまつわる活動も多いことから、女性に人気のある受入先です。団体の皆さんも気軽に話しかけていただくなど、「下町の風情を感じる交流がうれしかった!」という参加者の声が多く聞かれます。不定期ではありますが、人手の足りない作業など、要望のあった時に活動させていただいています。

夢の島公園・夢の島熱帯植物館

都立夢の島公園は1978年に開園しました。もともと夢の島とはゴミの最終処分場でしたが、今となっては都心に近い緑豊かな公園となっております。季節によってさまざまな表情を見せる植物の他、公園内には夢の島熱帯植物館、Bumb、第五福竜丸展示館などの施設があり、土日は多くのお客様で賑わっています。ぜひ、ご来園ください。

団体データ
＜活動場所＞
都立夢の島公園
江東区夢の島
＜団体概要＞
夢の島熱帯植物館
担当 谷口哲宏

レンジャーズ受入についての感想

トーキョーレンジャーズには、平成22年度よりボランティアを派遣して頂いています。当公園の場合、来園者の多い土日の作業よりも平日の受け入れが多く、学生のレンジャーズが大半を占めています。一回当たり10名程のレンジャーズに来て頂き、手間のかかる作業をお願いしています。具体的な作業内容の例としては、花壇の除草、緑地管理のほか、側溝の清掃や公園イベント運営の補助、中学生の職場体験指導の補助など、他の派遣先ではあまりないような内容をお願いしております。しかし、いずれの内容にしても気持ちよく引き受けて頂いており、特に人手が必要な時など大変助かっています。

今後も夢の島公園をお客様から満足を得られるよりよい公園にしていくために、レンジャーズに様々なお手伝いをして頂きたいと思います。



炎天下での小麦畑の除草作業の様子



園児とのチューリップ球根植付作業の様子

■現地でのレンジャーズ活動の特徴

指定管理者制度により管理されている公園ではありますが、都民協働の観点より、公園管理により多くの方に参加していただこうと活動を始めました。また、植物館の業務が体験できるということで、就職活動中の学生にとっても職場経験を積むことができる貴重な場となっています。夢の島公園の目指す「志の高い農業」を支援するため、不定期ではありますが活動を行っています。

鎌倉中央公園 山崎・谷戸の会

鎌倉中央公園内の谷戸において、地元の農文化を継承した保全活動を7つの班（田んぼ班、畑班、雑木林管理班、生態系保全班、植物育成班、農芸班、自然遊び班）に分かれて行っています。日曜日の午前中を中心に、赤ちゃん連れ家族から高齢者までいろいろな人が集まって活動しています。初心者向き講座「谷戸塾」（保育付き）も好評です。

団体データ

<活動場所>

鎌倉市立鎌倉中央公園

鎌倉市山崎

<団体概要>

特定非営利活動団体 山崎・谷戸の会

代表 相川明子

担当 黒川美加

レンジャーズ受入について感想

・天気を心配していたら、「小雨でもお伺いします」という連絡をいただき嬉しくなりました。果たして当日は小雨の寒ーい日。長靴に防寒具で1時間ほど作業となりました。「次回も続きをさせてください」との申し出は心強く思いました。若者の力に大いに期待しています。（田んぼ班）

・畑の耕し、落ち葉かきを畑班のメンバーと共に体験し、その効果を発揮。重くて特殊な谷戸鍬を使っ
ての作業もすぐに上達する若者たちはすばらしいです。落ち葉かきでは熊手一本で童心にかえり、会員との交流が図れました。（畑班）

今後も、新たなパワーを吹き込んでくれる若者達をお待ちしています。



（左）畑の荒起し作業



（右上）乾燥させた豆をさや出しへ



（右下）子どもの参加者も多い

■現地でのレンジャーズ活動の特徴

畑や田んぼなど、本格的で昔ながらの貴重な農作業が体験でき、参加者のリピート率も高い現場です。何う度に、このような貴重な場所と経験を残し、さらに次の世代へ引き継いでいこうとされている現地の皆さんの強い意思に感服しています。また、学童クラブとの連携など、団体運営のシステムなども大変参考となるものです。毎月一回程度定期的に訪問しています。

チャリティハーブガーデンプロジェクトを通じた交流

NECソフト株式会社 CSR推進部

チャリティハーブガーデンプロジェクトは、NECソフトの地域貢献活動とし2006年発足。東京都港湾局に新木場駅前の緑地帯を借用し、ハーブガーデンを造園・管理し景観美化に努めています。緑化NPO法人GreenWorksにガーデニングの支援を受け、新木場の景観美化に留まらず、社員や地域の方々がハーブガーデンのハーブを利用した加工品を作成し、その加工品を地域イベントで販売しています。売上金は自然環境復元協会等のNPO法人に寄付し、環境保全や東日本大震災支援に活用いただいています。ハーブガーデンが「地域の庭」となり、理想的な緑のまちづくりのきっかけとなればと活動しています。

7月3日 ラベンダー収穫作業 23名参加

2011年7月のラベンダー収穫作業からレンジャーズにボランティア派遣をいただいています。毎年、ラベンダーの咲く時期は、社員のみならず、地域の方々にもお手伝いいただき、収穫作業に追われています。ラベンダーは、社員が作成する加工品の主な材料となるため、レンジャーズのみなさんの手伝いはとても助かります。若者も多いレンジャーズの方々に、企業の社会貢献活動を理解していただくきっかけにもなり、次世代の方々の視点で、このプロジェクトへのご意見をいただけるよい機会となっています。



10月15日・16日 江東区民まつり 14名参加

「江東区民まつり・中央まつり」にNECソフトブースを出展し、ハーブ加工品の販売や新木場のハーブで抽出したエキスをを使った「ハーブ石鹸づくり」を実施しています。毎年、当ブースには2日間で約1000人以上の来客があります。レンジャーズの方々には、ハーブ石鹸づくりの講師とハーブ加工品の販売員を手伝っていただきました。毎年、社員ボランティア中心でしたが、レンジャーズも加わることで、活気あるブースとなりました。社員も日頃コミュニケーションをとらない若い学生の方も多かったため、お互いよい刺激となりました。

【レンジャーズの受入について】

地域の景観美化向上を目的に造園したハーブガーデンが、企業・行政・住民・NPOの新たな出会いと新たなコミュニケーションの機会を作り出しました。特にレンジャーズとの出会いにより、この活動を広く多くの方々に知っていただき、都市環境をよりよくしようとする次世代の育成の契機となれたらと期待しています。企業の社会貢献活動は、どうしても内向きの活動になりがちです。レンジャーズとの連携が、こうした活動を外向きにし、さらにビジネスでは繋がることのない「つながり」を作り、社会に向けた新たな価値を生み出すと信じています。

トーキョー・レンジャーズ 活動報告 ～活動から学んだ、ボランティアのあり方と意味～

法政大学人間環境学部二年

川角 健太

私は大学一年生の時からトーキョーレンジャーズの活動に何度も参加させていただいたが、その中で特に自分の中で大きな学びがあった活動が、海の森での植樹活動である。その活動を通して学んだことを述べていく。

一昨年(2019年)の11月に海の森植樹活動に参加した。単純に興味があり、何の疑問も持たずに現地に向かった。到着してから目の当たりにしたのは、埋め立て地の中にある、土だけの地。聞いた話によると、その土は昔地下鉄を掘った時に掘り出した土であるらしい。それを聞いたり、その場を見たりしたとき、私は『こんなに何もなくて緑があふれるなんて素敵だ。土も再利用しているようすごい。これに自分の手に関われるなんて嬉しい。』と思っていた。植樹活動をすると、土が硬く、斜面も急で、大変な作業だった。みんなで活動した結果、なんとか終わることができた。私自身、その時はとても満足していた。一緒に活動していた人の中に、植物館の館長さんや木を専門とするNPOの方々が出た。その人たちの会話に、「これじゃあ木がかわいそうだな」というようなニュアンスの言葉を聞いた時、私の中に疑問が生まれ、気になって理由を尋ねてみた。すると、「この土は植物が育つには適さない。粘土質だし、栄養もない。もっと順序があるのではないかな」と言った。順序の意味は、いきなりさら地に苗木を植えるのではなく、雑草を生やして枯らせて土を育ててからでないと、木は育たないという意味である。さらに、活動中には植物の特徴によって植える場所やアドバイスをしてくれた。他にも、苗木の間隔が狭すぎると言うことも言っていた。仮にすべての苗木が育った時に、木の間隔が狭すぎて栄養が行き渡らず、結果、暗い森が出来上がってしまうとも言っていた。

私はこの話を聞いたとき、もし私が他の団体で来ていたとしたら、特に何も考えずに植物を植えて、良いことをしたという自己満足に浸って帰宅していたかもしれない。それはそれで良いのかもしれないが、その後の苗木たちはどうなるのか。ただ、自分が良い気持ちになるだけであったら、どうなのかなと思った。この時に私がそういう視点を持てたのは、この活動を植物の専門家と共にできた結果である。現地では担当者側からも特に指示がなく、適当に植えてくださいというスタンスであったし、周りの団体は植物の種類なんて考えないでただ植えているように見えた。ある意味それが普通であるかもしれないが、トーキョー・レンジャーズの人ほど知識を持って活動している人はいなかった。

たしかに、ボランティアであるから気軽に来たのだと思う。私もそうであった。ただ、自己満足に終わってしまい、のちになってすべての苗木が枯れていたとしたら。さらに、これは専門家から聞いた裏話だが、土を創るためにわざと枯らしているのではないかなという意見もあった。これは、環境倫理的にどうなのかなと私は疑問を持つ。苗木を一つとっても、それを育てた人がいて、何よりその木には命がある。そういうものを簡単に扱っていいのかなという疑問もある。専門家と共に活動できたことで、私はそのような視点を持つことができた。そして、その真偽を確かめるために、大学のゼミ発表の題材として海の森を選んだ。だが、調べれば調べるほど、情報がないことに気づいた。このプロジェクトは東京都が進めているが、経験から、専門家も一緒に事業計画を立てているのかなと感じた。

そして、一年後に経過を見たくて、昨年の海の森ミッションにも参加させていただいた。見た目的には緑も増えて、自分の心配は必要なかったかと思ったが、いざ土を掘ると、粘土質にあたってしまった。

専門家の人に聞いてみたところ、まだまだだねと苦笑だった。

私はこの海の森プロジェクトを通じて、単なる自己満足に終わらないボランティア活動をさせてもらった。その点で、専門家と共に作業できるレンジャーズの活動には、とても感謝している。他のボランティアでは得ることができなかっただろう気付きの場を提供していただいた。ボランティア活動とは、本当に素晴らしい活動であると思っている。自主的に活動し、それが社会貢献になっている。だが、この活動で今まで受け身の活動をしていた自分に気づいた。ボランティア活動＝良いことという先入観があった。あながち間違いではないが、もう少し自分の活動の意味を考えていかねばと気づいた。これはその後のすべての活動に生きている。だからこそボランティアの人には意味のあることをやってほしいと思うし、それによって自分の活動に誇りを持ってもらいたい。せっかく同じことをやるのなら、自己満足で終わるのはもったいないし、何よりそれが何につながっているか、自分の活動の意味は何かを知ることは重要である。この活動から学んだことは、うわべだけを見ては真実を見失うということである。決して海の森での植樹や、ボランティア活動を否定しているわけではないが、自分が満足できる活動が実は疑問を持つ内容だったりしたら、単純に悲しいと思うからだ。単なる満足だけでなく、しっかりとした専門知識を織り交ぜながら活動の意義を確認するという作業ができるボランティア活動は、私にとっては理想のボランティア像である。

私は、大学に入ってから初めてボランティアに関わった。最初、ボランティアは人のためにやるものだと思っていた。確かに人のためにもなるが、それ以上に自分の中で大きな経験になることを学んだ。ボランティアだからこそ入れる場所があり、出会える人がいる。様々な価値観に触れて自分の視野も広がり、かつ人や社会への貢献にもつながる。今回の気づきもレンジャーズの活動に参加できたから得たものである。これが、ボランティアの意義であると現時点での私は考えている。そして、ボランティアをするというよりも、ボランティアをさせてもらっているという感覚を持つようになった。この感覚を得ることができたのは、自分の中ではとても大きい。それは、何事にも感謝して取り組むということを感じさせてくれたからである。ボランティアは、自分の可能性を広げてくれるツールの一つであると、私は思っている。今後も、様々な活動を通じて新しい世界に触れ、もっともっと視野や人脈を広げていく。そして、得たものを周りに発信していきたい。



リーダー業務を通じて成長したこと

認定 NPO 法人自然環境復元協会
長期インターンシップ生 佐々木亮之

最初の内はレンジャーズ・リーダーとして参加していても自ら進んで何かを考えて行動することが出来ず、現場で先輩のスタッフが現地の説明や作業内容について参加者へ説明するのを側で見ているだけの事が多かった。

現場へ出始めてから 3 ヶ月が経ち、少しずつ作業に慣れはじめた頃に一人で準備作業から当日の参加者対応まで一連の流れを任されるようになった。何事においても傍で見ている分には簡単そうに見えて、自分がやってみると難しいという事を身を持って経験する機会となった。レンジャーズでは毎月 1 回その月の大まかな活動紹介のメール・ブログの配信を行っていて、自分もこの作業を任されることになった。普段何気なく読んでいた文章もいざ自分が作成するとなると思うように手が進まなかった。文章を読む側では気が付く事がなかったが、どの様な文章表現を用いればより多くの人たちにレンジャーズ活動に対して興味を持ち、参加してもらえるのかと考えながら作成した。人の目に留まり、その内容に興味を持たせるにはどの様な表現を用いれば良いのかを繰り返し考えた。この経験は今まで人に読んで貰う文章を書いた経験の無い自分に貴重な文章作成能力を磨くことに繋がったと思う。

その他に参加申し込みのあったレンジャーズ隊員への事前対応や、現地団体の方と作業の内容確認、活動当日に現地団体の設立経緯や活動内容などについて参加者へ説明を行なった。中でも人前で話す際は大変緊張した。毎回ごとに話し方を工夫し、参加者が作業の内容について分かりやすく理解できるにはどの様にすれば良いのか試行錯誤しながら考えた。

この体験が自分以外の人間へ何かを説明する際の要点のまとめ方や、話し方などを実践で学ぶ大変良い社会勉強の場になったと思う。

始めの方でも述べたが、リーダーとしてレンジャーズ活動全体の作業は慣れない事だらけで戸惑うことも多かった。が、今までのレンジャーズに参加する立場から逆に自分が活動を設定する側に関わる事で沢山の気づきと学びがあったと感じている。最近ではレンジャーズ活動が終わった後にその日の活動について振り返る余裕が少し出てきた。自分のリーダーとしての行動、発言や参加者への対応などを思い返しながら反省点や良かったと思える点について書き留め、物事を客観的に判断する癖を



レンジャーズ恒例の準備体操の掛声はリーダーの任務

付けられたように思う。レンジャーズ活動に限らず全ての事に通じる事だが、客観的な判断力というのは仕事をする上で非常に大切な能力だと思う。なぜなら、常に自分以外からの視点を持つという事は物事を偏らずに考える事が可能であるからだ。

今後はこれまで以上に物事の流れを様々な角度から捉え、より多くの気づきと学びを得られるように努力を怠らないようにしたいと思う。

参加者からの感想

ヒアリング調査 リーダー 佐々木亮之

・トーキョーレンジャーズでは漠然と草を刈って終わるのではなく、事前に現地の団体から「なぜこの作業が必要なのか？」の説明があるので納得して作業にあたれた。また「どのような理由で、そのフィールドや自然に優しい管理が必要なのか」などについても知ることができて大変勉強になった。(社会人・30代・男性)

・緑化ボランティアに興味があってトーキョーレンジャーズに登録した。ブログやメール等の活動紹介文が砕けた表現で書かれているので、あまり緊張感なくボランティアに参加出来る点が良いと思う。自分の住んでいる近くにも都市公園はあるが、柏の宮公園のような管理を行っているところはあまり見たことがないように思う。(社会人・20代・女性)

・今までやったことのない野外での作業(芝刈り・丸太運び等)が多く、体力的にはかなり大変ではあったが、トーキョーレンジャーズに参加することで、自分だけではできない初めての体験がいろいろできて本当に良かった。(学生・20代・女性)

・初めてでもあり普段身体を動かしていないせいか、作業に慣れるまでが大変だった。しかし、初対面にも関わらず、メンバーみんなで協力しながら作業を行う体験ができたのはとても良かった。(社会人・30代・女性)

・以前やったことのある作業やキツイ作業もあったが、レンジャーズではメンバーみんなでワイワイと作業するので、同じ作業がとても楽しく感じられた。(社会人・20代・女性)

・初めてのボランティア活動なので、いきなり「人」を支援するボランティアは敷居が高い気がした。そこで、まずは「自然」を相手にする緑化活動なら自分にも出来るのではないかと思い、中でも初心者でも大丈夫そうなトーキョーレンジャーズに登録した。(社会人・60代・男性)

・もともとボランティアに興味があり、今月も東北地方へ震災ボランティアに行ってきた。インターネットの掲示板(Yahooボランティア)で、トーキョーレンジャーズのボランティア募集案内が出ていたのを見て、「緑化ボランティアを行ってみたい!」と思い参加した。(学生・10代・女性)

・年間通して何回か参加することで、暑いときや寒いときなど、季節や気候に応じたいろいろな野外での作業があって、とても良い経験になったと思う。(学生・10代・男性)

・初参加だったが、とてもよい経験が出来た。普段仕事が忙しいのでなかなか時間がとれないのが残念だが、ぜひ次の機会があったらまたレンジャーズには参加したい。(社会人・30代・男性)

・普段学校でやっているなので緑化作業には慣れているつもりだったが、レンジャーズでは初めてのことや、かなり大変な作業にも挑戦させてもらえたので、大変良い経験だった。(学生・20代・男性)

レンジャーズと生物多様性

認定 NPO 法人 自然環境復元協会
理事 立川周二

レンジャーズの活動分野に、公園における仕事がある。その内容は、草刈り、落枝の片付け、竹林の手入れなどである。なんだ、公園管理の下働きではないか、と落胆する必要はない。社会における公園の役割を考えると、重要な仕事である。とくに都市における公園は、たくさんの機能を担っている。都市公園は、残された貴重な自然の砦である。大きな樹木、四季折々の花、さえずる小鳥たち、花壇を舞うチョウ。コンクリート砂漠のオアシスでもある。多くの人々が、公園を訪れて、自然を感じ、休養と憩いの一時を過ごす。親と幼い子が、交通事故の心配もなく、自由に走り回る。変わる風景を楽しみながら、気ままな散歩が出来る。アミニティばかりでなく、災害の場合は、避難場所として重要な空間を提供する。

このような機能と共に、公園の安心と安全は、日頃の管理によって、達成されている。造園業者など管理を専門とした人が働いているが、実際には人手が足りていない。そこで、公園ボランティアとして、近隣の人々が管理を手助けしている。大きな樹木の剪定など、高度な技術が必要な仕事とは別に、花壇の植え替え、草取り、清掃、見回り、日常の細かな作業を引き受けている。しかし、この人たちにも若者離れと、高齢化が進んでいる。場所によっては、手が回らずに管理が不十分で、安全が保たれてない箇所がみられる。

さて、都市公園には、もう一つ重要な側面がある。それは、人のためばかりでなく、生きものたちの、生息の場所でもあるということ。たとえビルに囲まれた公園でも、自然の生態系が健全に働いてこそ、景観的にも美しく感じられる。都市公園の中には、都市環境下で生き抜いてきた、逞しい動物たちがいる。土壌動物や、昆虫のような、目にとまらないほど微小なものから、タヌキのような大形動物まで、様々な動物がくらしている。また、鳥やハネのある昆虫たちは、都市周辺から、街中の緑を目指して飛来する。今こそ都市公園では、レンジャーズの活躍が望まれている。地域の自然を重視する公園では、希少となった植物を守るため、特別な管理を行っている。草刈り機で画一的に除草するのではなく、昔ながらの手作業で、鎌を用いて草を刈り取る。あるいは素手で、抜き取ることもある。希少種を守るために、気配りをしながら、細かな作業をするのである。このような希少種を残すことは、生物多様性の持続に欠かせないものである。都会では見る事の出来なくなった、エビネ、キンラン、ヤマユリ、オミナエシなどの野草に出会えることは、多くの人に幸せをもたらす。公園には、このような地域の特色となる、植物

を残す役割も重要である。また都会には、他の植物の生育を妨げ、脅威となる外来種が多い。旺盛にはびこる侵略者との戦いには、不断の努力が必要である。

レンジャーズが作業した後に、再び訪れた公園で、白いオカトラノオやピンクのコマツナギなどの、野生の花が咲いているのをみて、成果の喜びを感じた。このような、気配りとパワーの除草も、レンジャーズに求められている、一つの作業なのだ。



手作業による選別除草の作業の様子

都市における自然再生と人間性の回復 レンジャーズプロジェクト

認定 NPO 法人 自然環境復元協会
理事 有賀一郎

1、意識の転換と自発的な行動：市民参加やボランティアへの期待

今を生きる私たちには、次の世代に豊かな環境を引き継ぐ責務がある。都市の環境問題は、資源やエネルギーを大量消費する都市社会そのものが原因で、いままでの社会経済の構造・生活・価値観を環境の視点からの変革する必要がある。すなわち、私たち一人ひとりが人間の責務を深く理解して、意識を転換し、自発的・主体的な行動が求められる。また、都市社会では経済・財政状況の停滞の中、安心安全な社会の構築、高齢化社会への対応、生物多様性の回復、市民協働体制の推進などが模索される中、様々な視点から効率的な都市社会づくりが求められ、民間活力の導入や市民参加・ボランティア活動への期待が高くなっている。

2、身近な「自然」を活用した楽しみや環境教育・体験学習

急速な少子高齢化社会の到来は、増えつづける高齢者に対しての生きがい・楽しみ・健康保持・生涯学習などの要求度を高め、同時に次代を担う若者に対して次世代に引き継ぐ環境教育・体験学習の必要性を高める。このような新たな学習機会では、私たちの生活のあり方や価値観を、環境・参加などの視点から転換していくよう教育・体験することが求められる。しかし、このような教育体験する場はあまりなく、その環境整備が急がれることになる。その中で、気軽に参加可能な、都市における日常的で身近な「自然」の保護・保全・再生の場と、それを活用した自然系の環境教育・体験学習はわかりやすく、環境活動への導入として、効果的である。

3、自然の中のボランティア体験から人間性の回復

レンジャーズプロジェクトはこういった時代背景の中、環境意識の変換や環境活動への導入として、人間性回復の手段として、市民参加やボランティア活動のきっかけとして注目を集める。すなわち、既存のボランティアに協力するボランティアとしての、様々な意味と価値である。レンジャーズプロジェクトは、当初は私の関与するサンシティグリーンボランティアにおける高齢化問題や後継者不足の解決の糸口としてスタートしたものである。サンシティグリーンボランティアにとっては、労働力が提供される上に、マンネリ化しがちな活動への刺激となり、新たな参加者への誘い水になった。レンジャーズにとっては、汗を流す労働を通して、世代を超えた交流ができ、奉仕することの喜びを感じ、何よりも身近な自然の中でボランティア体験ができることであった。

4、ボランティアは、単なる無償の「労働力」ではない

サンシティグリーンボランティアの活動は、資源のリサイクル・高齢者の生きがい・コストの縮減・環境共生・健康運動・住民参加・体験学習などの今日的テーマを内包し、生活のあり方や価値観を変革させることができる。このような活動を、広く普及させ次の世代へと受継がせてゆくためには、活動の意味と価値をもっと明らかにすることがきわめて重要である。それには効果的な情報発信が不可欠で、これは事務局の大切な役目でもある。レンジャーズが、こういった活動に貢献することを期待する。

またこういった活動を長続きさせるには、あまり無理をしないことが秘訣だ。参加するボランティアの目的は「楽しみや生きがい」である。ボランティアは、単なる無償の「労働力」ではない。「楽しみや生きがい」の手段として「緑の管理運営活動」がある訳で、バーベキュー大会やヤキイモ大会等、楽しめるイベントの企画も欠かせない。

コミュニケーション能力の向上を目指し ～ トーキーレンジャーズでの仕事場カリキュラムの実施～

専門学校東京テクニカルカレッジ
環境テクノロジー科科长 今野 祐二

専門学校東京テクニカルカレッジの環境テクノロジー科は、2年間で大きく分けて二つの環境技術を学ぶことができます。

一つ目は、日本が公害問題という苦い経験を克服してきた「公害防止技術」です。汚染された環境（水・空気・土壌など）の汚染物質を測定・分析する「分析技術」と、汚染物質を取り除く「処理技術」を学びます。授業は、実習を中心に進めていきます。器具や計測機器の使い方、基本的な環境測定の方法、分析機器を使った測定方法、処理技術については実験を通してその原理や処理方法について学びます。さらに、在学中はほとんどの学生が国家試験である「公害防止管理者」試験を受験します。

二つ目は、これからの自然共生社会を創造してをいくために必要な「環境保全技術」を学びます。授業はフィールドワークを多く取り入れ、都内の自然環境が豊かな、奥多摩、御岳、檜原、高尾などや、都内の緑地公園やビオトープまで様々な環境を題材に、動植物の観察、同定・分類法から学び、生態学、自然保護などに関する法規などについて学びます。さらに、それぞれの自然環境の調査法や管理方法などの保全技術について学んでいきます。

また、在学中は専門分野を学ぶほかに「環境リテラシー」、「情報リテラシー」、「ビジネス基礎能力」など基礎教養の学習やコミュニケーション能力を身に付けるような場として「仕事場カリキュラム（仕事場実習）」を取り入れ、学生達が目標企業へ就職できるよう教育しております。

企業は新入社員の人材像として、基礎能力や専門性のほかに人間性を重要視しており、特に「コミュニケーション能力」は多くの企業が望んでいます。当校で実施している仕事場実習は、学生達が自主的にNPO法人などが実施している環境保全活動などのボランティア活動に参加し、専門分野以外に、さまざまな人々と出会いとコミュニケーションを通じて責任感や協調性などの社会性あるいは人間性を深めていくことができるよう期待して設けた時間です。

また、学校生活では同学年あるいは年齢の近い同世代がほとんどです。クラスメイトとの交流だけでなく、様々な年代の人々が同じ目的に向かって取組んで実施するボランティア活動は、コミュニケーション能力を育てる場としてだけでなく、人間的に豊かになれる場と考えています。

「公害防止技術」、「自然環境保全技術」の二つの技術については、日本が目指す「持続可能な社会（低炭素社会・循環型社会・自然共生社会）づくり」を目指すための技術であり、日本が世界に誇れるような技術であります。今後、中国をはじめとする新興国や東南アジアなどの途上国で環境問題が深刻化される国々で、当校の卒業生が専門性だけでなく、人間性豊かな技術者として近い将来活躍してくれることを期待しています。



遊歩道の整備 サンシティ



公園の概要などのレクチャー 柏の宮公園



技術的な指導を受けての作業 夢の島

高齢化する環境団体への支援としての有用性

横浜みどりアップ計画推進市民会議委員

伊藤博隆

レンジャーズでは、公園、マンションの緑地、里山、埋め立て地など数多くの現場に参加者の派遣を行っており、現場毎でニーズも様々なため、一概には語れない。ここでは活動歴が長い団体を例に効果を考えてみたい。

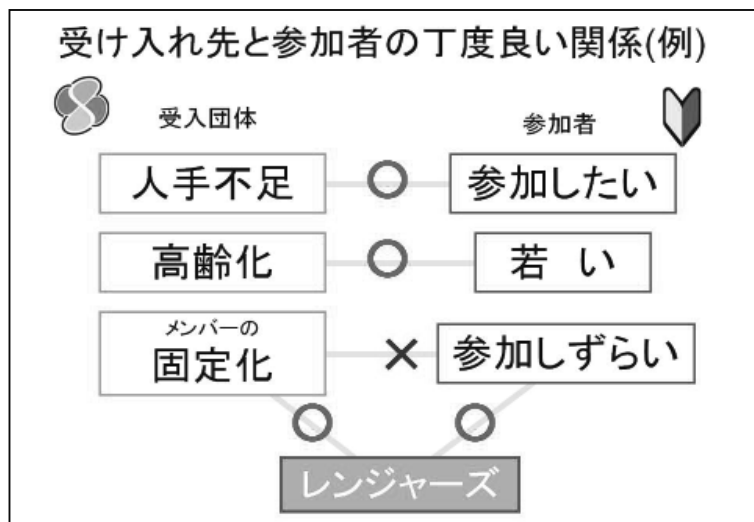
■受入側のニーズ

活動歴の長い団体だと、活動立ち上げ期のメンバーが10年、20年と関わり続けている。メンバーがある程度固定化されていると、ツーカーの仲なので作業内容の説明も要らず、好きなペースで作業が出来る。趣味的要素が強ければ、こうした運営でも問題ないが、里山のように適正な管理をしっかり実施するとなると、それに見合った人手の確保が必要になる。地域の活動団体にとって、新たな参加者を発掘するのに苦労しているケースも多く、また新たに人が参加しても「本当は作業をしたいのに指導で作業ができない」、「苦労して育てても長続きしない」、などの課題も出てくる。

■参加者側のニーズ

人気アイドルグループが里山の暮らしを実践する、日本テレビ系列の「ザ！鉄腕！DASH!!」は10年以上も続く人気番組だ。こうした体験を自分もしてみたいという人は、若い世代では少なくない。

しかし地元であってもどこにそうしたグループがあるかも分からず、参加の仕方が分からない、というケースが多い。また、仮に自分で自主的なグループを見つけても、年齢差のある出来上がったコミュニティの中に飛び込んでいくとなると、かなり覚悟がいる事ではないだろうか。



■ミスマッチを取り除く

レンジャーズプロジェクトは、参加者の「助っ人部隊」という立ち位置を明確にし、一人ではなく集団で参加することから、上記のようなミスマッチの原因となるハードルの多くを取り除く事ができる。このことは、潜在的な参加ニーズの掘り起こしにつながり、都市の緑を守る仲間を増やすことに貢献している。参加者の中には複数の場所に参加し、その中で自分にあった活動が何かを見出している。こうした人材の中から、将来的に地域の自然を守るリーダーが生まれることで、持続可能な環境活動が形成されるのではないだろうか。レンジャーズプロジェクトは、高齢化する環境団体への新しい形としての支援方法として期待している。

「若手ボランティア派遣」に関する調査 集計結果からみる傾向について

地球環境基金に団体登録している関東周辺の環境活動団体に
アンケート調査実施。傾向の分析を行った。

期間：2011 年 7 月 21 日～2011 年 9 月 30 日

依頼数：772 団体

回答数：163 団体

回収率：21%

I. 集計結果からみる傾向について

1. 調査対象団体の基本情報について

調査対象団体が行っている活動で、1回あたりの平均参加者は、10人程度から15人程度である。活動をサポートするスタッフは、5人程度で、30代以上の中高年齢層のスタッフが多く、全体的に「男性」が「女性」に比べ若干多い。

活動頻度は、「月1~2回」が多い。

各団体が行っている活動については、全体の7割が「それなりに活動できている」と自己評価している。「活動がうまくいっていない」と評価した団体は、全体の2割である。活動がうまくいかない主な理由には、「人手不足」(77.8%)「時間不足」(44.4%)「資金不足」(33.3%)を挙げる団体が多い。

2. 現在のボランティア受け入れ状況について

一般の「ボランティア参加者が、不足している」と感じている団体は41.7%と高い。全体の4割が、現在も「ボランティアの募集をしている」と答えている。

募集方法として有効なものは、「口コミ」(62.9%)、「インターネット」(56.5%)を挙げる団体が多い。実際に効果があった募集方法は、「口コミ」(53.2%)であった。

個人のボランティアを受け入れて「良かったことがあった」団体は、全体のおよそ6割である。その内容には、「活動のことが広まった」(52.2%)、「作業が捗った」(46.7%)、「協力者が増えた」(41.3%)などを挙げている。

個人のボランティアを受け入れて「困ったことがあった」団体は29.4%で、「継続しない」(58.3%)、「当日になって活動に来ない」(35.4%)などが理由に挙げられていた。

団体のボランティアを受け入れて「良かったことがあった」団体は38.7%で、「ボランティアが継続的に来るようになった」(50.8%)、「協力者が増えた」(49.2%)、「活動のことが広まった」(47.6%)などを挙げている。

団体のボランティアを受け入れて「困ったことがあった」は低く、13.5%である。その内容は、「継続しない」(36.4%)、「その他」(36.4%)などであった。

3. 今後のボランティア受け入れについて

今後、ボランティアが「必要だ」と考えている団体は73.0%と高い。具体的には、「月一回」程度(33.6%)の参加で、「誰でもよい」(37.8%)が、できれば「大学生から20代」(48.7%)の若手に参加して欲しいと考えている。また、望む参加者像は、「社会常識が守れる人」(59.7%)、「柔軟に対応してくれる人」(51.3%)、「自分から動いてくれる人」(44.5%)であった。

4. 「若手ボランティア派遣」について

「若手ボランティア派遣」に興味がある団体は、全体のおよそ6割で、「無料なら利用したい」(74.2%)と考えている。また、ボランティア1名に対する費用負担額は、1000円から2000円程度、もしくは5000円程度の2つに意見がわかれる。活動一回当たりの受け入れ人数は、「5人以内」(28.8%)であった。

Ⅱ. 集計表

1、貴団体の基本情報について

●活動1回あたりの平均参加者数（全員で）何人ですか？

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	1～5人	20	12.3	13.4
2	6人～10人	31	19.0	20.8
3	11人～15人	28	17.2	18.8
4	16人～20人	24	14.7	16.1
5	21人～25人	1	0.6	0.7
6	26人～30人	14	8.6	9.4
7	31人～35人	1	0.6	0.7
8	36人～40人	3	1.8	2.0
9	41人～45人	0	0.0	0.0
10	46人～50人	10	6.1	6.7
11	50人以上	17	10.4	11.4
	無回答	14	8.6	
	サンプル数 (%ベース)	163	100.0	149

●スタッフ（活動を中心的にサポートしている方）は何人ですか？

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	1～5人	60	36.8	39.7
2	6人～10人	43	26.4	28.5
3	11人～15人	19	11.7	12.6
4	16人～20人	8	4.9	5.3
5	21人～25人	3	1.8	2.0
6	26人～30人	6	3.7	4.0
7	31人～35人	1	0.6	0.7
8	36人～40人	0	0.0	0.0
9	41人～45人	0	0.0	0.0
10	46人～50人	5	3.1	3.3
11	50人以上	6	3.7	4.0
	無回答	12	7.4	
	サンプル数 (%ベース)	163	100.0	151

●スタッフの年齢層は？

○スタッフの年齢層（大学生～20代）

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	1～5人	16	9.8	66.7
2	6人～10人	2	1.2	8.3
3	11人～15人	1	0.6	4.2
4	16人～20人	1	0.6	4.2
5	21人～25人	1	0.6	4.2
6	26人～30人	0	0.0	0.0
7	31人～35人	0	0.0	0.0
8	36人～40人	0	0.0	0.0
9	41人～45人	1	0.6	4.2
10	46人～50人	1	0.6	4.2
11	50人以上	1	0.6	4.2
	無回答	139	85.3	
	サンプル数 (%ベース)	163	100.0	24

○スタッフの年齢層（30～40代）

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	1～5人	56	34.4	77.8
2	6人～10人	6	3.7	8.3
3	11人～15人	3	1.8	4.2
4	16人～20人	1	0.6	1.4
5	21人～25人	2	1.2	2.8
6	26人～30人	2	1.2	2.8
7	31人～35人	0	0.0	0.0
8	36人～40人	2	1.2	2.8
9	41人～45人	0	0.0	0.0
10	46人～50人	0	0.0	0.0
11	50人以上	0	0.0	0.0
	無回答	91	55.8	
	サンプル数（%ベース）	163	100.0	72

○スタッフの年齢層（50～60代）

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	1～5人	67	41.1	46.9
2	6人～10人	40	24.5	28.0
3	11人～15人	8	4.9	5.6
4	16人～20人	13	8.0	9.1
5	21人～25人	2	1.2	1.4
6	26人～30人	2	1.2	1.4
7	31人～35人	1	0.6	0.7
8	36人～40人	3	1.8	2.1
9	41人～45人	0	0.0	0.0
10	46人～50人	3	1.8	2.1
11	50人以上	4	2.5	2.8
	無回答	20	12.3	
	サンプル数（%ベース）	163	100.0	143

○スタッフの年齢層（70代以上）

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	1～5人	65	39.9	68.4
2	6人～10人	12	7.4	12.6
3	11人～15人	7	4.3	7.4
4	16人～20人	3	1.8	3.2
5	21人～25人	3	1.8	3.2
6	26人～30人	1	0.6	1.1
7	31人～35人	0	0.0	0.0
8	36人～40人	1	0.6	1.1
9	41人～45人	0	0.0	0.0
10	46人～50人	2	1.2	2.1
11	50人以上	1	0.6	1.1
	無回答	68	41.7	
	サンプル数（%ベース）	163	100.0	95

●スタッフの男女比はどのくらいですか？

○男性スタッフ

No.	カテゴリー	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	1～5人	70	42.9	47.6
2	6人～10人	32	19.6	21.8
3	11人～15人	16	9.8	10.9
4	16人～20人	6	3.7	4.1
5	21人～25人	2	1.2	1.4
6	26人～30人	10	6.1	6.8
7	31人～35人	2	1.2	1.4
8	36人～40人	1	0.6	0.7
9	41人～45人	1	0.6	0.7
10	46人～50人	0	0.0	0.0
11	50人以上	7	4.3	4.8
	無回答	16	9.8	
	サンプル数 (%ベース)	163	100.0	147

○女性スタッフ

No.	カテゴリー	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	1～5人	95	58.3	70.9
2	6人～10人	18	11.0	13.4
3	11人～15人	5	3.1	3.7
4	16人～20人	6	3.7	4.5
5	21人～25人	3	1.8	2.2
6	26人～30人	1	0.6	0.7
7	31人～35人	0	0.0	0.0
8	36人～40人	3	1.8	2.2
9	41人～45人	0	0.0	0.0
10	46人～50人	2	1.2	1.5
11	50人以上	1	0.6	0.7
	無回答	29	17.8	
	サンプル数 (%ベース)	163	100.0	134

●活動頻度はどのくらいですか？

No.	カテゴリー	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	月1～2回	65	39.9	43.6
2	月3～4回	32	19.6	21.5
3	月5回以上	30	18.4	20.1
4	2～3ヶ月に1回	8	4.9	5.4
5	4～5ヶ月に1回	0	0.0	0.0
6	6ヶ月に1回	2	1.2	1.3
7	12ヶ月に1回	2	1.2	1.3
8	その他	10	6.1	6.7
	無回答	14	8.6	
	サンプル数 (%ベース)	163	100.0	149

●十分な活動は出来ていますか

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	十分出来ている	26	16.0	16.5
2	まあまあ出来ている	96	58.9	60.8
3	少し出来ていない	33	20.2	20.9
4	全く出来ていない	3	1.8	1.9
	無回答	5	3.1	
	サンプル数 (%ベース)	163	100.0	158

※「3、少し出来ていない」「4、全く出来ていない」とお答の方

●その原因は何だと思われますか

(MA)

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	人手不足	28	77.8	77.8
2	資金不足	12	33.3	33.3
3	時間不足	16	44.4	44.4
4	運営ノウハウ不足	5	13.9	13.9
5	周辺（社会・地域・家族など）からの理解不足	4	11.1	11.1
6	その他	7	19.4	19.4
	無回答	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	36	100.0	36

2、現在のボランティア受け入れ状況について

●ボランティア（一般からの参加者）は足りていますか？

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	十分足りている	12	7.4	8.1
2	まあまあ足りている	41	25.2	27.7
3	少し足りない	46	28.2	31.1
4	全く足りない	22	13.5	14.9
5	ボランティアは不要	27	16.6	18.2
	無回答	15	9.2	
	サンプル数 (%ベース)	163	100.0	148

●ボランティアは募集していますか？

(S A)

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	募集している	62	38.0	59.6
2	募集していない	42	25.8	40.4
	無回答	59	36.2	
	サンプル数 (%ベース)	163	100.0	104

※「1、募集している」とお答の方

●募集の方法はどれですか？

(M A)

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	ちらし	28	45.2	45.2
2	口コミ	39	62.9	62.9
3	ボランティアセンターなどで告知	20	32.3	32.3
4	インターネット	35	56.5	56.5
5	地域などでの案内	26	41.9	41.9
6	その他	19	30.6	30.6
	無回答	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	62	100.0	62

●効果があった募集方法はどれですか

(M A)

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	ちらし	7	11.3	13.0
2	口コミ	33	53.2	61.1
3	ボランティアセンターなどで告知	6	9.7	11.1
4	インターネット	16	25.8	29.6
5	地域などでの案内	13	21.0	24.1
6	その他	8	12.9	14.8
	無回答	8	12.9	
	サンプル数 (%ベース)	62	100.0	54

※「2、募集していない」とお答の方

●その理由は何ですか？

(M A)

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	ボランティアは不要	16	38.1	42.1
2	募集方法がわからない	0	0.0	0.0
3	時間がない	3	7.1	7.9
4	お金がない	7	16.7	18.4
5	募集しても集まらないので辞めた	3	7.1	7.9
6	その他	15	35.7	39.5
	無回答	4	9.5	
	サンプル数 (%ベース)	42	100.0	38

● ボランティアを募集したいですか？

(MA)

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	募集したい	6	14.3	17.1
2	募集したくない	14	33.3	40.0
3	検討中	8	19.0	22.9
4	わからない	5	11.9	14.3
5	その他	9	21.4	25.7
	無回答	7	16.7	
	サンプル数 (%ベース)	42	100.0	35

● 個人のボランティアを受け入れて良かったことはありますか？

(SA)

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	ない	24	14.7	20.7
2	ある	92	56.4	79.3
	無回答	47	28.8	
	サンプル数 (%ベース)	163	100.0	116

※ 「2、ある」とお答の方

○ どんなことですか？

(MA)

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	ボランティアが継続的に来るようになった	36	39.1	40.0
2	作業が捗った	43	46.7	47.8
3	協力者が増えた	38	41.3	42.2
4	活動のことが広まった	48	52.2	53.3
5	周辺（社会・地域・家族など）からの理解が得られるようになった	35	38.0	38.9
6	その他	13	14.1	14.4
	無回答	2	2.2	
	サンプル数 (%ベース)	92	100.0	90

● 個人のボランティアを受け入れて困ったことはありますか？

(SA)

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	ない	64	39.3	57.1
2	ある	48	29.4	42.9
	無回答	51	31.3	
	サンプル数 (%ベース)	163	100.0	112

※ 「2、ある」とお答の方

○ どんなことですか？

(MA)

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	当日になって活動に来ない	17	35.4	37.0
2	継続しない	28	58.3	60.9
3	指示通りに動かない	11	22.9	23.9
4	手間ばかりかかる	9	18.8	19.6
5	その他	9	18.8	19.6
	無回答	2	4.2	
	サンプル数 (%ベース)	48	100.0	46

●団体からのボランティアを受け入れてよかったことはありますか？ (S A)

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	ない	38	23.3	37.6
2	ある	63	38.7	62.4
	無回答	62	38.0	
	サンプル数 (%ベース)	163	100.0	101

※「2、ある」とお答の方

○どんなことですか？

(M A)

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	作業が捗った	15	23.8	24.6
2	協力者が増えた	31	49.2	50.8
3	活動のことが広まった	30	47.6	49.2
4	ボランティアが継続的に来るようになった	32	50.8	52.5
5	周辺（社会・地域・家族など）からの理解が得られるようになった	14	22.2	23.0
6	その他	10	15.9	16.4
	無回答	2	3.2	
	サンプル数 (%ベース)	63	100.0	61

●団体からのボランティアを受け入れて困ったことはありますか？ (S A)

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	ない	71	43.6	76.3
2	ある	22	13.5	23.7
	無回答	70	42.9	
	サンプル数 (%ベース)	163	100.0	93

※「2、ある」とお答の方

○どんなことですか？

(M A)

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	当日になって活動に来ない	5	22.7	22.7
2	継続しない	8	36.4	36.4
3	指示通りに動かない	5	22.7	22.7
4	手間ばかりかかる	5	22.7	22.7
5	その他	8	36.4	36.4
	無回答	0	0.0	
	サンプル数 (%ベース)	22	100.0	22

3、今後のボランティア受け入れについて

●今後、ボランティアは必要ですか？

(S A)

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	必要ではない	37	22.7	23.7
2	必要だ	119	73.0	76.3
	無回答	7	4.3	
	サンプル数 (%ベース)	163	100.0	156

※「2、必要だ」とお答の方

○どのくらいの頻度でボランティアに参加して欲しいですか？

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	毎日	5	4.2	4.3
2	週一回	12	10.1	10.3
3	月一回	40	33.6	34.5
4	数か月に一回	8	6.7	6.9
5	半年に一回	3	2.5	2.6
6	年に一回	1	0.8	0.9
7	数年に一回	1	0.8	0.9
8	繁忙期にのみ	10	8.4	8.6
9	緊急時など必要に応じて	18	15.1	15.5
10	その他	18	15.1	15.5
	無回答	3	2.5	
	サンプル数 (%ベース)	119	100.0	116

○どんな年齢層のボランティアに参加して欲しいですか？

(M A)

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	特に必要ない	10	8.4	8.6
2	誰でもOK	45	37.8	38.8
3	子ども～小学生	9	7.6	7.8
4	中学生～高校生	17	14.3	14.7
5	大学生～20代	58	48.7	50.0
6	30～40代	39	32.8	33.6
7	50～60代	33	27.7	28.4
8	シニア層	15	12.6	12.9
9	ファミリー層	9	7.6	7.8
	無回答	3	2.5	
	サンプル数 (%ベース)	119	100.0	116

○どんな方にボランティアとして参加して欲しいですか？

(M A)

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	社会常識（キャンセル時の事前連絡、集合時間を守るなど）を守れる人	71	59.7	62.8
2	作業の基本（工具の名前や使い方、下草処理 など）は概ね理解している人	26	21.8	23.0
3	自分から動いてくれる人	53	44.5	46.9
4	柔軟に対応してくれる人	61	51.3	54.0
5	その他	30	25.2	26.5
	無回答	6	5.0	
	サンプル数 (%ベース)	119	100.0	113

4、★「若手ボランティア派遣」について

★「若手ボランティア派遣」に興味はありますか？

(S A)

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	興味はない	55	33.7	37.2
2	興味がある	93	57.1	62.8
	無回答	15	9.2	
	サンプル数 (%ベース)	163	100.0	148

※「2、興味がある」とお答の方

○若手ボランティア派遣先の団体様ご負担額について参考までに伺います。

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	無料なら利用したい	69	74.2	76.7
2	有料でも利用したい	15	16.1	16.7
3	その他	13	14.0	14.4
	無回答	3	3.2	
	サンプル数 (%ベース)	93	100.0	90

○ご負担額の上限（ボランティア1名につき）はどの位ですか？

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	500円	0	0.0	0.0
2	1000円	3	1.8	17.6
3	2000円	2	1.2	11.8
4	3000円	1	0.6	5.9
5	4000円	1	0.6	5.9
6	5000円	3	1.8	17.6
7	5000円以上	2	1.2	11.8
8	その他	5	3.1	29.4
	無回答	146	89.6	
	サンプル数 (%ベース)	163	100.0	17

○若手ボランティアは活動一回あたり何人受け入れたいですか？

No.	カテゴリ	団体数	全体 (%)	無回答除く (%)
1	5人以内	47	28.8	54.0
2	6～10人	15	9.2	17.2
3	11～20人	3	1.8	3.4
4	21～30人	3	1.8	3.4
5	31～50人	0	0.0	0.0
6	51人以上	0	0.0	0.0
7	何人でもOK	12	7.4	13.8
8	その他	7	4.3	8.0
	無回答	76	46.6	
	サンプル数 (%ベース)	163	100.0	87

【記述回答】

若手ボランティア派遣に期待すること

派遣活動のシステムに関して

- こちらでも学生を中心とした若手活動家とのネットワークを持っていますので互いに協力できれば幸いですよろしくお願いいたします。
- ボランティアを必要としている所に、タイムリーに派遣があると非常に良いと思う。
- 団地の高齢化防止のため常時のため門戸をあけて欲しい。
- もちろん作業はたくさんこなすことは期待しますが、若い人への活動の理解、ほかの団体、学生などへの活動の伝播を一番期待します。
- 大学のテスト期間（7月下旬から8月上旬）のボランティア確保に苦勞するのでこの時期に派遣していただければ非常に助かります。
- 環境活動を行っている市民グループとその実力をつけたい学生と協力して活動している例があるが、個人的なつながりで成立している様子が見えてくる。今回の企画のようなものはあまり知られていない、新しい企画ではないかと思う。うまく運営できることを期待している。
- 貴団体の活動のメイン「緑に親しむ」「保全する」ような場はなかなか提供できないが、私たちの活動を若い方々に引きついでいきたいという思いもあり、可能性があるのであれば、繋がりをもちたいと考えている。
- マッチングした人材を派遣してほしい。
- 川掃除等 受け入れたいと思う。又 観察会の講師派遣についても お願いできればありがたい。
- 地域に根付いた活動を基に、若い世代が里山保全に関心を持つ機会となればうれしい。
- 森づくりについての正しい認識に立った活動を期待します。

若手ボランティアに関して

- 高校生や大学生は必須時間をつくって奉仕の精神や感謝の気持ちの念を持ってもらう。
- 樹林に対する愛情と、自然との共生を考えることができる方が多いと思いますので、意欲と若さに期待します。
- 森づくりの理解を期待します。
- 若い方の力を望んでいるのと、これからの方への地域貢献の必要性を身につけてほしい。
- 継続した関わりを期待している。2.他の参加者、特に年配の方たちとの交流をしよう。
- ボランティアだから活用したいのではなく活動目的に共感したから参加したいと言う人のみを対象とします。
- ボランティアと称した場合、どこへ行っても基本無償です。でも折角来てくれるのだから、若い人との交流も出来るのだし、お昼ご飯くらいは。僕たちの活動は継続性が大切だと思っています。特に若者は力もあり、発想も豊かでこちらでも学ぶことがたくさんあると期待します。
- 想像力、汗をかく、実行力のある人。
- 期待することは大いにある。ボランティア活動経験が人生の行き方を多少変えるでしょう。
- 若手の年齢層や男女共同化。本人の将来や～を役立てる理念を持っている人。

- 継続して参加して欲しい
- 率先して仕事をしてくれる人
- 継続的に参加して頂ける事。活動を広める事。運営を助けて頂ける事。
- ボランティアを通じて職業にも生かしてほしい。

各団体の活動に関して

- ビオトープの柵作りの作業など、力仕事をお願いしたい。当会は高齢者が多く、杭打ちなど出来る人がいなくなり困っている。
- 地元で育成を図りたい。
- 周辺の居住者がのぞまれる。また、遠距離の場合は、将来ネットをワークを作る人が望ましい。
- 高齢化のため傾斜地の竹林作業は面倒に感じるようになりボランティアを利用して短時間に処理出来れば良いと思うが？
- 一人は受け入れられない。本人が孤立して可哀そうだった。
- お試しで参加して気に入ったら継続的、自発的に参加、活用、提案などしてほしい。ライフサイクルに合わせて長く、自分のペースで活動しているメンバーが多勢いるので参考にしてほしい。
- 私は 1927 年生です。百閒は一見にしかず。一见は一行にしかず。見るとやるのでは大違い。若手のボランティアの皆さん沙漠で植樹をしてみませんか。一本の木は森となります。森は CO2 を吸収し酸素を放出、保水力がつき農耕地が生まれ生物多様性には大事な森です。地球の未来のため皆さまの参加が必要です。
- 人材育成、職員への登用
- 活動に継続重要。育成に役立つ人材
- スタッフとして活動してもらえる人がいれば幸い。
- 積極的・自発的に働ける人。
- PC の扱いを出来る人（ホームページを立ち上げできる人）
- 運営にまで参加できるよう続けられるという。
- 事業は拡大したが人材不足である。ボランティア活動から出発した NPO なので 4 月～指定管理者になり作業すればお金が出るようになった。有償無償の区別が付きにくくなり、会員間のコミュニケーションが悪くなったりボランティア不要精神の持ち主の参加が減少した。若手を入れて活性化を図りたいが混乱も予想されるので当分現状維持。
- ぜひ会員になってもらいたい。
- 継続してくれる人。
- 目的に賛同する方を求めています。
- 地域での活動をしてもらうために等地近くの学生（男）の方々の応援があったら嬉しい。
- 現在は会の役員会で実施できている。
- 活動地域は自然いっぱいです。しかしこちらの要望に応えられる仕事ができる人が欲しい。できれば誰でも構わない。
- 団体の方針として「発生した問題処理ではなく未然に防ぐための仕組みの改善、提案、立案」が中心となるため地元の定着した若手のスタッフを必要としている。当団体には派遣ボランティア適切ではないかもしれません。

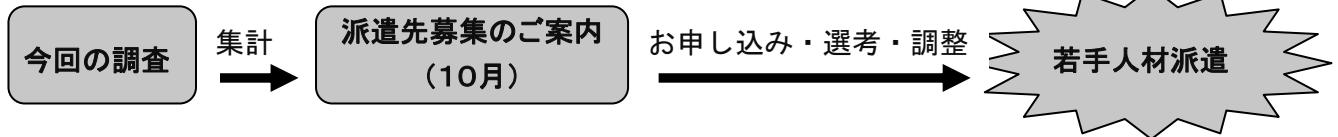
- 高齢化のため、傾斜地の竹林作業は面倒に感じるようになり、ボランティアを利用して短時間に処理出来れば良いと思う。
- 都立公園のため、受け入れるかどうか分からないがボランティアの力を借りたいのは事実。
- 当会は遊び心を忘れず自然と共生することに楽しみを見出しながら活動をしている。また、平均年齢が 65 才を過ぎているので無理をしないで活動をすることも要件のひとつだが長年継続して活動してきているので作業の知恵、ノウハウは持っている。特に若手ボランティアに期待することは当会の活動を理解して共調して自ら動いて若いエネルギーを吹き込んでくれればありがたいと考えます。
- 利益が上げられる事業ではないので、有償とまではできないが、各種補助金の活用などで、有償をめざしたい。高齢化で会の存続が危機にあり、活動の継続を期待している。
- 当会のスタッフは高齢者が多いので、将来は、場合によっては若手ボランティア（スタッフ）を必要とするようになるかもしれない。
- 毎回、約 70～90 人の参加がある。若者の（中学生、高校生、大学生）参加が 50～60 人。全員驚くほどシッカリしているレベル層を更に厚くしたい。
- 一時的なものではなく、継続してやってもらいゆくゆくは中心になってやってもらいたい。将来は会に入ってもらえそうな人。

「若手ボランティア派遣」に関する調査

(本紙にご記入の上、同封の「返信用封筒」にてご返送ください)

●調査の目的：私ども自然環境復元協会では、人手が欲しい環境保全団体様へ若手ボランティアを派遣する「レンジャーズ・プロジェクト」を行っています。ただ今新たな派遣先を探しており、そのニーズなどを調べるため本調査を行います。本調査の最終項目にて「若手ボランティア派遣に興味がある」とご回答いただいた団体様には「派遣先募集に関する詳しいご案内」を10月までに送らせていただきます。お忙しい中誠に恐縮ですが、ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

認定 NPO 法人自然環境復元協会



1、貴団体の基本情報について

●団体名： _____ ●設立年： _____

●活動概要： _____

●活動理由を教えてください： _____

●活動1回あたりの平均参加者数（全員で）は何人ですか？ _____ 人

●スタッフ（活動を中心的にサポートしている方）は何人ですか？ _____ 人

●スタッフの年齢層は？（概数で結構です）

1、大学生～20代 _____ 人 2、30～40代 _____ 人 3、50～60代 _____ 人 4、70代以上 _____ 人

●スタッフの男女比はどの位ですか？ 男性： _____ 人 女性： _____ 人

●活動頻度はどのくらいですか？（例：月に一回など） _____ 回

●十分な活動は出来ていますか？ * 以下該当するものに○をお付けください

1、十分出来ている 2、まあまあ出来ている 3、少し出来ていない 4、全く出来ていない

●上記設問にて「3. 少し出来ていない」「4. 全く出来ていない」とお答えの方へ

その原因は何だと思いますか？（複数選択可）

1、人手不足 2、資金不足 3、時間不足 4、運営ノウハウ不足 5、周辺（社会・地域・家族など）からの理解不足 6、その他： _____

2、現在のボランティア受け入れ状況について**●ボランティア（一般からの参加者）は足りていますか？**

- 1、十分足りている 2、まあまあ足りている 3、少し足りない 4、全く足りない
5、ボランティアは不要

●ボランティアは募集していますか？**1、ボランティアを募集している****「1. 募集している」とお答えの方へ****⇒募集の方法は何ですか？（複数選択可）**

- 1、ちらし 2、口コミ 3、ボランティアセンターなどで告知
4、インターネット 5、地域などでの案内
6、その他： _____

⇒効果があった募集の方法はどれですか？（複数選択可）

- 1、ちらし 2、口コミ 3、ボランティアセンターなどで告知
4、インターネット 5、地域などでの案内
6、その他： _____

⇒ボランティアの受け入れや、継続して参加してもらうために工夫されていることがありましたらご記入ください。

2、ボランティアは募集していない**「2. 募集していない」とお答えの方へ****⇒その理由は何ですか？（複数選択可）**

- 1、ボランティアは不要 2、募集方法がわからない 3、時間がない
4、お金がない 5、募集しても集まらないので辞めた
6、その他： _____

⇒ボランティアを募集したいですか？（複数選択可）

- 1、募集したい 2、募集したくない 3、検討中 4、わからない
5、その他： _____

●個人のボランティアを受け入れて良かったことはありますか？

1、ない

2、ある ⇒どんなことですか？（複数選択可）

1、ボランティアが継続的に来るようになった 2、作業がはかどった

3、協力者が増えた 4、活動のことが広まった

5、周辺（社会・地域・家族など）からの理解が得られるようになった

6、その他： _____

_____●個人のボランティアを受け入れて困ったことはありますか？

1、ない

2、ある ⇒どんなことですか？（複数選択可）

1、当日になって活動に来ない 2、継続しない 3、指示通りに動かない

4、手間ばかりかかる 5、その他： _____

_____●団体からのボランティアを受け入れて良かったことはありますか？

1、ない

2、ある ⇒どんなことですか？（複数選択可）

1、作業がはかどった 2、協力者が増えた 3、活動のことが広まった

4、ボランティアが継続的に来るようになった

5、周辺（社会・地域・家族など）からの理解が得られるようになった

6、その他： _____

_____●団体からのボランティアを受け入れて困ったことはありますか？

1、ない

2、ある ⇒どんなことですか？（複数選択可）

1、当日になって活動に来ない 2、継続しない 3、指示通りに動かない

4、手間ばかりかかる 5、その他： _____

3、今後のボランティア受け入れについて

●今後、ボランティアは必要ですか？

1、必要ではない

2、必要だ

⇒「2. 必要だ」とお答えの方へ

○どのくらいの頻度でボランティアに参加して欲しいですか？

1、毎日

2、週一回

3、月一回

4、数か月に一回

5、半年に一回

6、年に一回

7、数年に一回

8、繁忙期のみ

9、緊急時など必要に応じて

10、その他：

○どんな年齢層のボランティアに参加して欲しいですか？（複数選択可）

1、特に必要ない

2、誰でもOK

3、子ども～小学生

4、中学生～高校生

5、大学生～20代

6、30～40代

7、50～60代

8、シニア層

9、ファミリー層

○どんな方にボランティアとして参加して欲しいですか？（複数選択可）

1、社会常識（キャンセル時の事前連絡、集合時間を守る など）を守れる人

2、作業の基本（工具の名前や使い方、下草処理 など）は概ね理解している人

3、自分から動いてくれる人

4、柔軟に対応してくれる人

5、その他：

4、★「若手ボランティア派遣」について

★「若手ボランティア派遣」に興味はありますか？

1、興味はない

2、興味がある ⇒★「派遣先募集に関する詳しいご案内」を10月までに送らせていただきます。

⇒「2. 興味がある」とお答えの方へ

○若手ボランティア派遣先の団体様ご負担額について参考までに伺います。

1、無料なら利用したい

2、有料でも利用したい⇒ご負担額の上限はどの位ですか？ ￥ (ボランティア1名につき)

3、その他：

○若手ボランティアは活動一回あたり何人受け入れたいですか？

1、5人以内

2、6～10人

3、11～20人

4、21～30人

5、31～50人

6、51人以上

7、何人でもOK

8、その他：

○若手ボランティア派遣に期待することがありましたらご記入願います。

ご協力いただき誠にありがとうございました。自然環境復元協会



(この調査は、平成23年度地球環境基金の助成を受けて実施しています)

企業の環境CSR活動への取り組み状況ヒアリング調査結果

●調査目的

レンジャーズ・プロジェクトにて企業との協働をはかるため、ベースとなる情報として「企業の環境分野におけるCSR活動への取り組み状況」について聞き取り調査を行った。

●調査対象

①業種…多岐（内訳は以下参照）、②規模…従業員10,000人以上の大手上場企業、③社数…60社

●調査期間

2011年12月

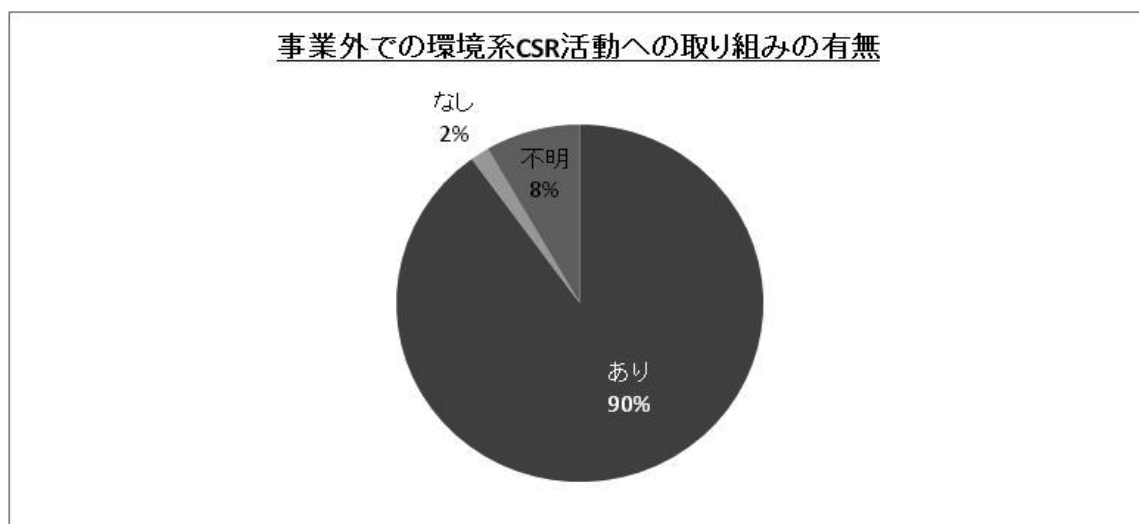
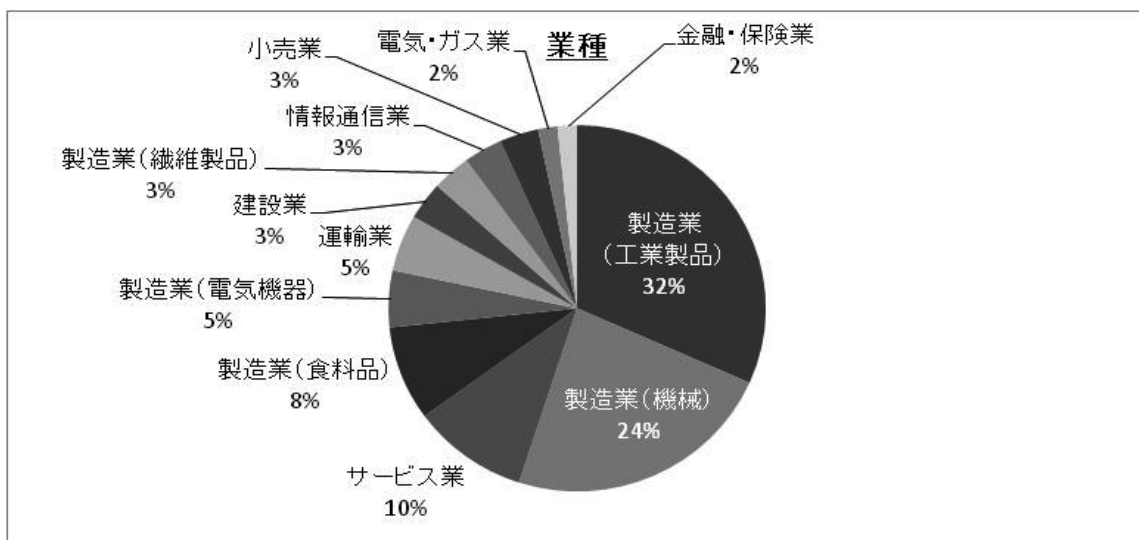
●調査方法

CSR担当者との面談

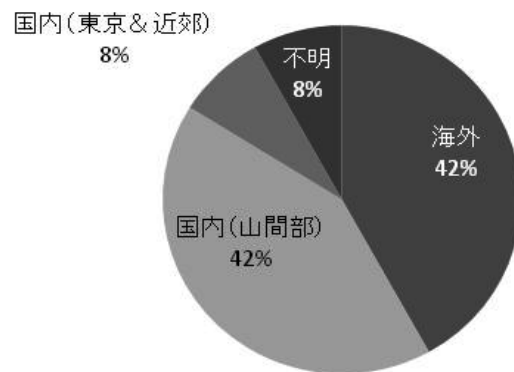
●質問項目

- ①事業外での環境系CSR活動への取り組みの有無
- ②CSR活動の場所
- ③NGO・NPOとの協働の有無
- ④協働先を決めたポイント（回答いただけたのは数社のみなので結果には反映せず）

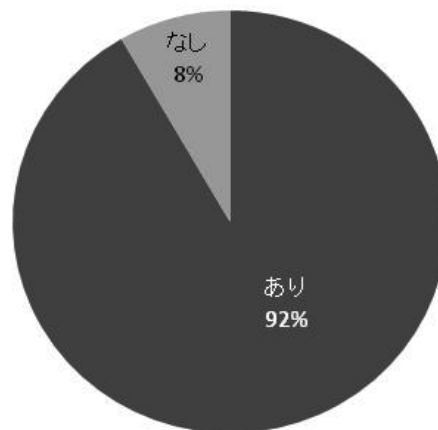
●結果



CSR活動の場所(複数回答可)



NGO・NPOとの協働の有無



●まとめ

- ・ほとんどの企業が自社事業所が関係する山間部や海外での活動に取り組んでいる。
- ・東京での活動は清掃活動などが多い。
- ・ほとんどの企業が活動について現地のNGOやNPOと協働している。
- ・協働先を決めたポイントは「自社拠点の近隣」「行政や社員(役員層)からの推薦」「事業への直結性」などが見られた。

若手人材の募集チラシ

レンジャーズプロジェクトへの登録者を促すため、チラシを作成。地域性を強調するために、トーキョーレンジャーズという名称を継続して使用した。大学やボランティアセンターなどに配布。5000枚

東京はぼくらの庭だ

トーキョーレンジャーズ

POINT 01 参加したい時に、参加したい場所へ

レンジャーズに登録すると、活動のお知らせがメールで届きます。参加したい活動、参加したい場所に行けばOK。忙しくてもとにかく登録だけしてみよう。

POINT 02 翌日に疲れを残さないから安心

レンジャーズの活動は、基本的に午前中のみ。作業前にはしっかり準備体操もしますので、心地よい疲れが残る程度で終了します。

POINT 03 労働の対価は「学び」として

レンジャーズの活動は、ボランティアですが、安い労働力とは考えていません。昆虫セミナーや樹木セミナーなどの学びを取り入れています。それにより、環境活動の次のリーダーを作ります。

隊員登録～活動参加の流れ

- 登録費は無料です。● 交通費は各自ご用意ください。
- 経験は問いません。● 園芸用の工具を使用します。

当日の準備 -----

- ・ 長袖・長スボンの作業が出来る服装で参加ください。
- ・ 軍手、帽子、タオル、飲み物をご持参ください。
- ・ スニーカーなどの滑り難い靴で参加ください。

レンジャーズ・プロジェクトは、都市における様々な問題を解決し社会に貢献します。

- マンパワー不足による環境活動の衰退、不活性**
チームを結成しフィールドへ訪問します。人的応援をすることで活性化を目指します。
- 高齢化による技術の衰退**
市民活動家にもセミプロと呼ばれる方々が多くいます。実践的に学ぶことにより、技術の伝承を行います。
- 学生の異年代とのコミュニケーション能力不足**
様々な団体へ応援に行くことにより、異なる世代の方同士とのふれあいの場が持てます。年配者が多い団体もあり、礼儀や常識も教わることもあり、中には、「雇物は揃えろ」と怒られるシーンも…。異なる年代との接触がありません。学生のコミュニケーション能力を向上させ、社会へ出た際のショックを和らげる効果が期待できます。
- プロとの共存を目指します**
レンジャーズはボランティア活動として、多くの人に自然に興味を持ってもらうよう活動をPRしていきます。それにより、自然に対する要求が高まり、造園業・研究者・活動家などプロへ注目が集まるよう好循環を目指します。

自分ではできずと思っていたけど、まったく出来なかった。不甲斐ない。少しずつ（作業が）できるようになりたい。
10代男性・専門学校生

昆虫が好き。また参加したい。
30代男性・会社員

他の大学や別の学部生と知り合えて、良い。
20代女性・大学2年

植樹をやったかったが、こんなに近くで植樹ができるとは思わなかった。
30代女性・会社員

両親が町内会の活動に参加していることを思い出して、こんなに大変なことをしていたのか…と気づいた。
20代男性・大学生

私は一人っ子だったので、近所の自然に育ててもらった。今の子どもたちが身近に自然に触れ合えるようにしてあげたい。
20代女性・会社員

バードサンクチュアリとなっている場所の保全活動です。

生物に配慮し手作業による除草。

板橋区の団地での活動のお手伝いの様子。入居団体とも作業しながら交流します。

このプロジェクトは地球環境基金の助成を受けて実施しています。

企画運営

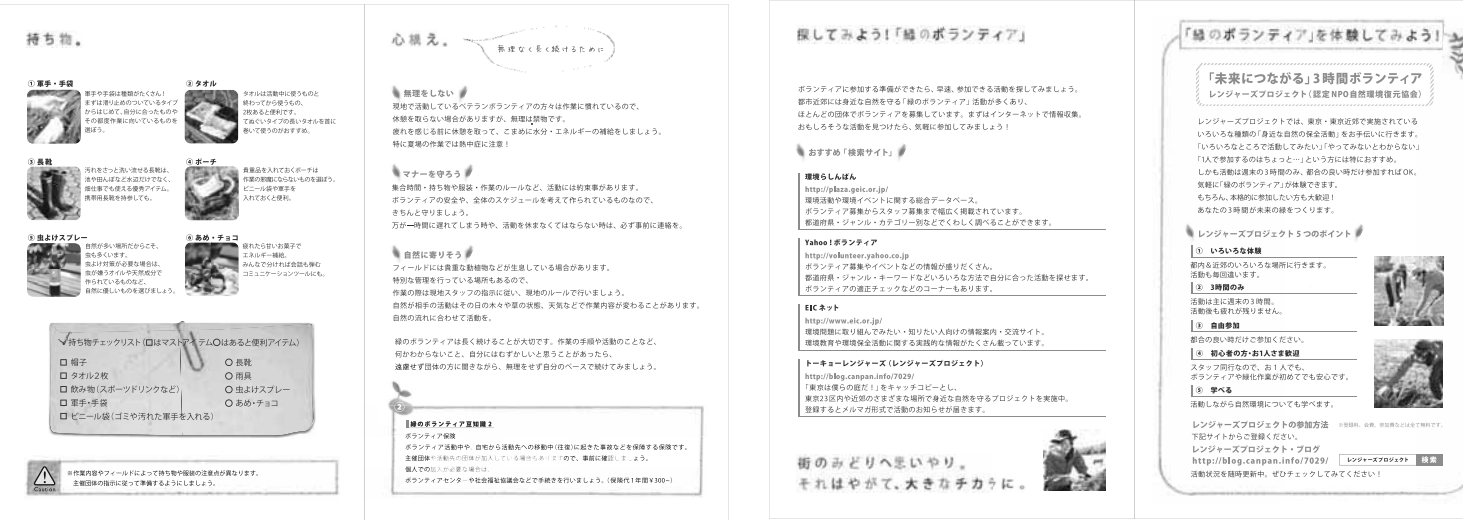
認定NPO法人
自然環境復元協会
Association for Nature Restoration and Conservation, Japan

169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-39-13-301
Tel.03-5272-0254 Fax.03-5272-5278

E-mail: info@narec.or.jp
<http://www.narec.or.jp>
 トーキョーレンジャーズ 検索

レンジャーズ新規登録者向けガイド(緑のボランティアスタートガイド)

環境活動に不慣れな参加者も多く、問合せが多いため、説明と啓発を兼ねたガイド冊子を作成した。内容は、問合せが多い、活動内容・服装・持ち物を中心にした。大学や店舗などに設置することで、環境活動に興味があるが踏み出せない層へ参加を促す。





本誌は地球環境基金の
助成で制作しています。



認定NPO法人

自然環境復元協会

Association for Nature Restoration and Conservation, Japan